

**測定記録支援システム BLuE  
iPadOS 版 ユーザーズマニュアル**

**第3版**

**2023 年 12 月 18 日**

**株式会社アネステック**

## 目次

<b>1</b>	<b>製品概要</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>動作条件</b>	<b>1</b>
<b>3</b>	<b>システム仕様</b>	<b>1</b>
<b>4</b>	<b>対応測定器一覧</b>	<b>2</b>
<b>5</b>	<b>用語集</b>	<b>5</b>
<b>6</b>	<b>インストール/アンインストール方法</b>	<b>6</b>
<b>7</b>	<b>操作フロー</b>	<b>7</b>
<b>8</b>	<b>各アプリの画面とボタンの説明</b>	<b>9</b>
<b>9</b>	<b>事前準備</b>	<b>14</b>
9.1	Excel 帳票、PDF 図面の準備	14
9.2	測定器側の事前設定	14
9.3	測定ポイントの作成(PDFEditor のみ)	18
<b>10</b>	<b>起動/連携する</b>	<b>19</b>
10.1	起動/連携する(アプリ版 Excel)	19
10.1.1	アプリ版 Excel の起動	19
10.1.2	試験記録表を読み込む	19
10.1.3	BLuEApp を起動する	20
10.1.4	Office アドインの挿入	23
10.1.5	BLuEApp と Excel を連携する	25
10.2	起動/連携する(Web 版 Excel)	26
10.2.1	Web 版 Excel の起動	26
10.3	起動/連携する(PDFEditor)	33
10.3.1	PDFEditor の起動	33
10.3.2	PDF 図面を読み込む	33
10.3.3	PDFEditor の基本操作	35
10.3.4	BLuEApp を起動する	36
10.3.5	BLuEApp と PDFEditor を連携する	38
<b>11</b>	<b>接続/切断する</b>	<b>39</b>
11.1	測定器と接続する	39

<b>12 測定する</b> .....	<b>45</b>
12.1 測定を行う(Excel) .....	45
12.2 測定を行う(PDFEditor) .....	51
<b>13 終了する</b> .....	<b>55</b>
13.1 試験記録表・図面を保存する .....	55
13.2 BLuEApp を終了する .....	55
<b>14 その他</b> .....	<b>56</b>
14.1 BLuEApp の設定 .....	56
14.2 Excel の設定 .....	68
14.3 PDF Editor の設定 .....	69
14.4 その他の操作 .....	86
14.4.1 アプリ情報 .....	86
<b>15 FAQ</b> .....	<b>88</b>

## 1 製品概要

当システムは、各種測定器で測定した測定値を無線通信によって iPad で受信します。Excel や専用の PDFEditor と連携し帳票上・図面上で指定した箇所に測定値を直接入力することができます。

## 2 動作条件

使用する iPad の動作条件は以下となります。

ハードウェア	iPad 5 以降
	その他の動作条件は当該 iPad の動作条件に準じます。

### ※当システムを使用する上での注意点

ライセンス認証を行う際は、インターネットへの接続が必要です。

ライセンス認証成功後、30 日間はオフラインで起動できます。

## 3 システム仕様

当システムは、下記の環境で動作させることを前提とします。

OS	iPadOS 14.8 以降
BLuEApp	BLuEApp 1.5 以降
Excel バージョン	Excel for iPad 2.53 以降（以下、Excel と表記）
PDF アプリケーション	BLuE PDF Editor 1.5 以降（以下、PDFEditor と表記）
CheX バージョン	CheX 3.36.0 以降
通信方式	Bluetooth 4.0 以降（Bluetooth Low Energy）



## 4 対応測定器一覧

当システムは下表に示す測定器に対応しています。ご使用の測定器が対応しているか確認してください。

機種名	メーカー	種類	備考
AF101	アリアテクニカ株式会社	風速温度計	
AF111	アリアテクニカ株式会社	風速温湿度計	
CD-AXシリーズ ※1	株式会社ミットヨ	デジタルノギス	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF300」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TCB」 が別途必要
CM4371-50	日置電機株式会社	クランプメータ	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
CM4373-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4375-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4376	日置電機株式会社	クランプメータ	
DCL31DRBT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DLC470BT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DT4261-50	日置電機株式会社	デジタルマルチメータ	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
FT3425	日置電機株式会社	照度計	
FT6380-50	日置電機株式会社	接地抵抗計	測定器本体の他、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
GAシリーズ ※2	大崎電気工業株式会社	電力量計	測定器本体の他、 「C-EM6用赤外線通 信機器(TP-BT)」 が別途必要
IES-5000 ※4	柴田科学株式会社	室内環境測定器	

機種名	メーカー	種類	備考
IR4052-50	日置電機株式会社	デジタル絶縁抵抗計	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
IR4055-11	日置電機株式会社	PV用デジタル絶縁抵抗計	
KEW2433RBT	共立電気計器株式会社	クランプリーカ	
KEW3441BT	共立電気計器株式会社	絶縁抵抗計	
KEW3552BT	共立電気計器株式会社	デジタル絶縁抵抗計	
KEW4105DLBT-H	共立電気計器株式会社	接地抵抗計	
KEW4300BT	共立電気計器株式会社	簡易接地抵抗計	
KEW4505BT	共立電気計器株式会社	コンセントテスタ	
KEW5204BT	共立電気計器株式会社	照度計	
KEW6041BT	共立電気計器株式会社	絶縁接地抵抗計	
M-1140X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1140XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-800DX	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-800DXR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MDC-MXシリーズ ※3	株式会社ミットヨ	マイクロメータ	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF310」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TMB」 が別途必要
MET-10X	マルチ計測器株式会社	接地抵抗計	
NL42A/52A/62A	リオン株式会社	騒音計	測定器本体のほか、 三工社製 Bluetoothアダプタ 「BA-01」 が別途必要

機種名	メーカー	種類	備考
PD3259-50	日置電機株式会社	検相器	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」 が別途必要
PM300BT	三和電気計器株式会社	デジタルマルチメータ	
SK-110TRH-B	株式会社佐藤計量器製作所	温湿度計	
SK-270WP-B	株式会社佐藤計量器製作所	温度計	
SSC-650 / SSC-750 / SSC-850	株式会社テックロック	デジタルノギス	
SSCD-150/150S	株式会社テックロック	デジタルシリンダゲージ	
SSD-215	株式会社テックロック	デジタルデプスゲージ	
SSI550/560/570/580	株式会社テックロック	デジタルインジケータ	
SSL250-260	株式会社テックロック	デジタル てこ式インジケータ	
SSM-750 / 850	株式会社テックロック	デジタルマイクロメータ	
SSS-540/550	株式会社テックロック	デジタル シックネスゲージ	
TKR12M	レッキス工業	満水試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
TKR12P	レッキス工業	圧力試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
6006-BT	日本カノマックス 株式会社	風速計	

**注記**

- ※1 BLuE に対応している「CD-AX シリーズ」は、  
【CD-10AX、CD-15AX、CD-20AX、CD-30AX、CD-15AXW、CD-15AXWW、  
CD-20AXW、CD-20AXWW、CD-15AXR】となります。
- ※2 BLuE に対応している「GA シリーズ」は、  
【A1GA-RLS31、A2GA-RLS31、A3GA-RLS31、A1GA-TLN2r、A2GA-TLN2r、A3GA-TLN2r、  
A1GA-TLN2、A2GA-TLN2、A3GA-TLN2】となります。
- ※3 BLuE に対応している「MDC-MX シリーズ」は、  
【MDC-25MX、MDC-50MX、MDC-75MX、MDC-100MX、MDC-25MXT、MDC-50MXT】  
となります。

- ※4 測定器本体のみを購入すると、基本測定として、【温度(°C)、湿度(%rh)、CO(ppm)、CO2(ppm)、気流(m/s)】ができますが、  
そのほか、別途付属品を購入することにより、以下の測定ができます。
- 粉じん測定：「粉じん計 LD-2I」  
低位置用温度測定：「低位置用温度計 IES3000/4000/5000 用 LTM-1 型」  
放射熱測定：「黒球温度計 IES-4000/5000 用 GTM-1 型」  
照度測定：「デジタル照度計 CANA-0010S 型（接続用ケーブル付）」  
騒音測定：「普通騒音計 NL-27 型(検定なし or 検定あり) + 騒音計ケーブル NL-27 型接続用」

## 5 用語集

本書で使用する用語の説明です。

- **BLuEApp**  
測定器の接続管理、測定結果を各入力先アプリケーション(Excel・PDFEditor)に受け渡すアプリケーション。
- **Excel アドイン**  
BLuE を使用するうえで必要な機能の提供、BLuEApp から Excel へ測定結果を受け渡すために必要なアドイン。
- **PDFEditor**  
PDF 図面の表示、BLuEApp から受け渡された測定結果を入力・表示・保持するアプリケーション。
- **タップ**  
指 1 本で画面に触れすぐに離すジェスチャ。リンクの移動やボタンの押し上げなどよく使われる基本動作。
- **ダブルタップ**  
短い時間でタップを 2 回行うジェスチャ。
- **ロングタップ**  
タップで画面に触れている時間を長くしたジェスチャ。
- **ドラッグ**  
タップ/ロングタップで画面に触れたのち指を移動させるジェスチャ。持って動かすイメージ。
- **スワイプ**  
画面上で指を移動させてから離すジェスチャ。払うイメージ。
- **ピンチイン/ピンチアウト**  
画面に 2 本の指で触れ、2 本の間隔を近づけるとピンチイン、2 本の間隔を離すとピンチアウト。
- **ドック**  
iPadOS で最近使ったアプリ、登録したアプリを簡単に呼び出すための機能。ホーム画面で画面下に表示されます。

- SlideOver  
起動中のアプリの上に別のアプリを小さい画面で起動する手法。複数のアプリを同時に起動できません。
- SplitView  
画面を分割し2つのアプリを起動する手法。複数のアプリを同時に起動できます。
- 前面に表示  
SlideOver または SplitView の状態でアプリケーションが画面に表示されている状態。
- 測定ポイント  
PDF 図面上に測定器から取得した値を表示するためのポイント。
- 測定値  
測定器から取得した値。

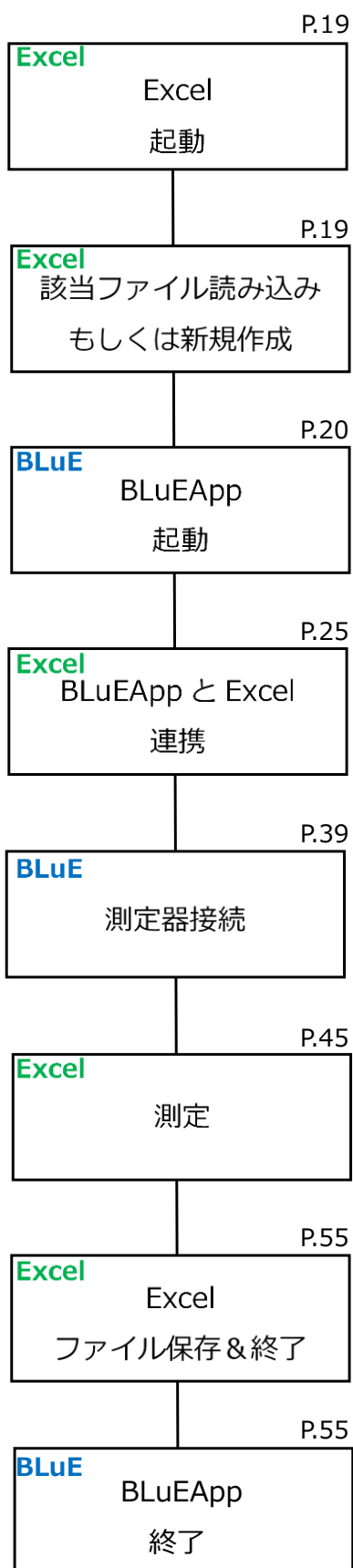
## 6 インストール/アンインストール方法

インストール/アンインストール方法については、別紙「インストール手順書」を参照してください。

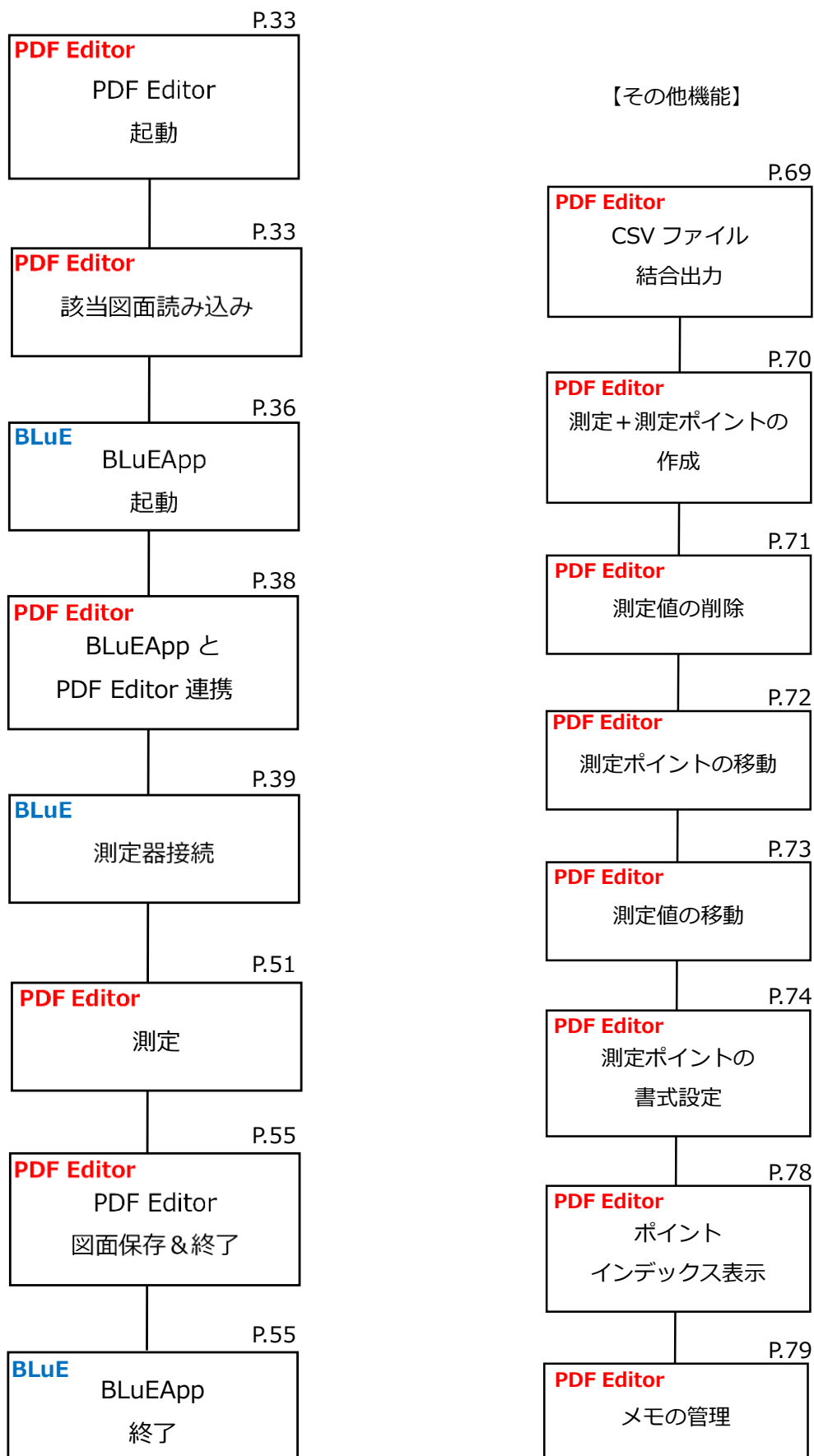
サイト URL : [BLuE for iPad - BLuE \(smart-blue.net\)](http://BLuE for iPad - BLuE (smart-blue.net))

## 7 操作フロー

「BLuEApp」と「Excel」



## 「BLuEApp」と「PDFEditor」



## 8 各アプリの画面とボタンの説明

当システムは、

「BLuEApp」と「Excel」

「BLuEApp」と「PDFEditor」

を組み合わせご利用ください。以下にアプリの画面とボタンについて説明します。

### 【BLuEApp】



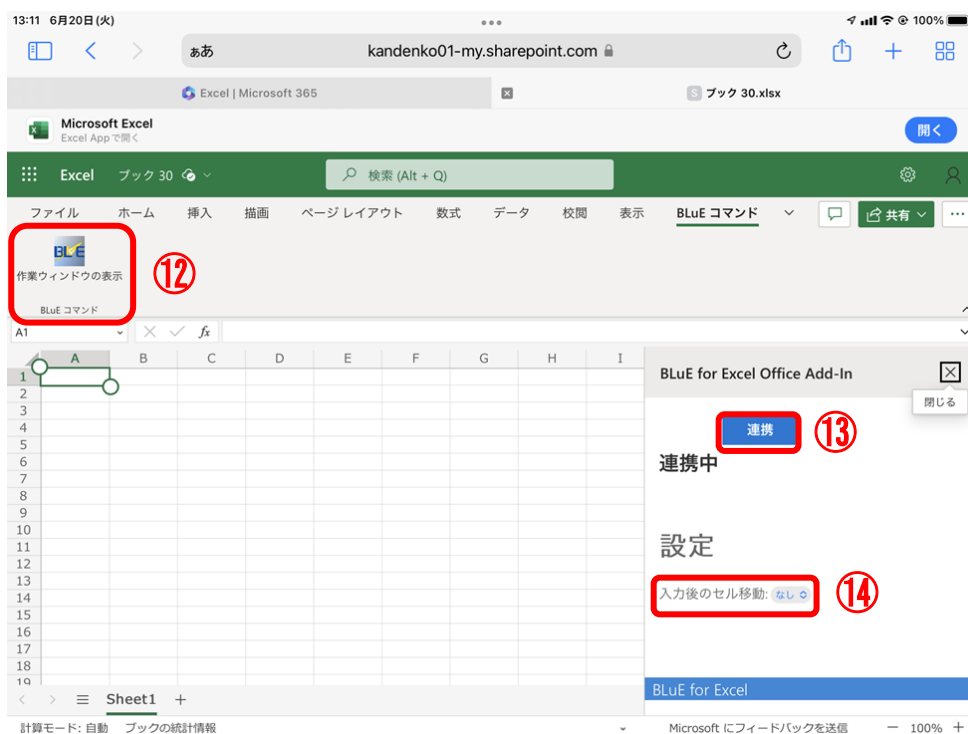
No.	リボンメニュー	機能内容
①	「…」	iPad 画面に表示されている BLuEApp を移動する際、「…」を長押しした状態で、左右にスライドすると移動します。
②	再接続ボタン	過去に接続したことがある測定器の電源が入っていれば、本ボタンを押下すると接続できます。
③	設定ボタン	本ボタン押下後、設定画面へ遷移します。
④	接続管理ボタン	本ボタン押下後、接続管理画面へ遷移します。
⑤	接続中の機器一覧	現在接続されている測定器の型番・シリアル番号が表示されます。
⑥	入力先アプリケーション呼び出し機能	設定することで、「Excel・PDFEditor・CheX」を呼び出せます。設定方法については、P.56 を参照してください。
⑦	開始ボタン	本ボタン押下後、測定画面へ遷移します。
⑧	接続対象機種一覧	④ボタン押下後、接続する測定器の型番を選択し、測定器を接続します。





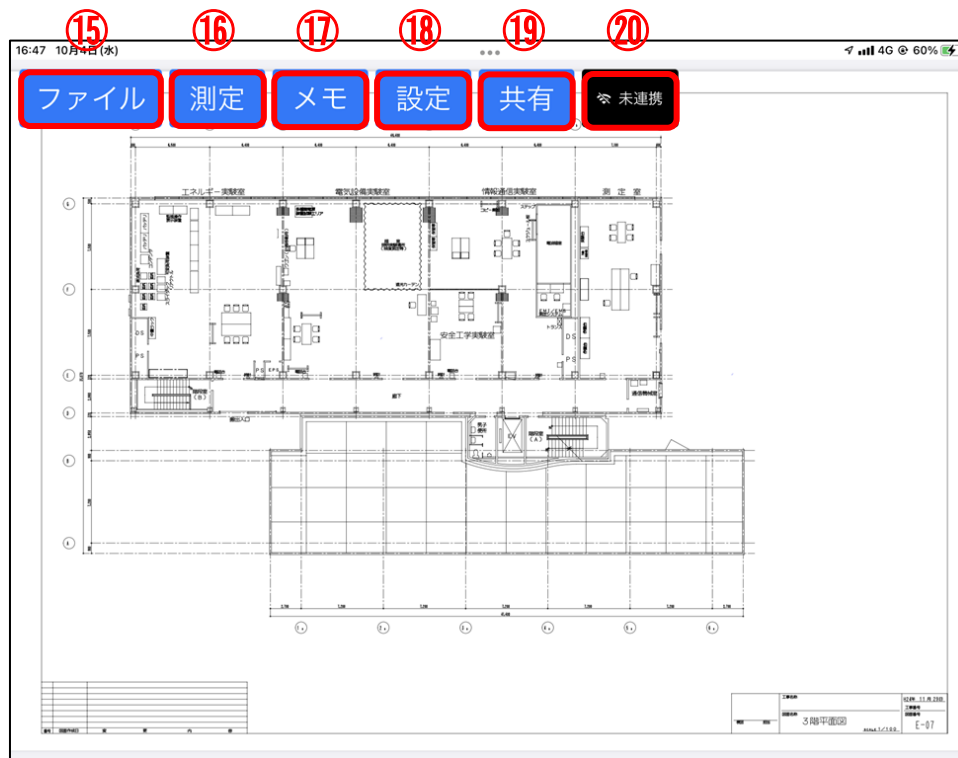
No.	リボンメニュー	機能内容
⑨	設定対象機種一覧	③ボタン押下後、測定器ごとに各種設定ができます。 測定値の出力方法/入力表記の変更などが行えます。
⑩	セル反映ボタン	【Excel 入力時のみ表示】 本ボタン押下後、測定値が入力されます。
⑪	終了ボタン	本ボタン押下後、メイン画面へ遷移します。

## 【Excel アドイン】



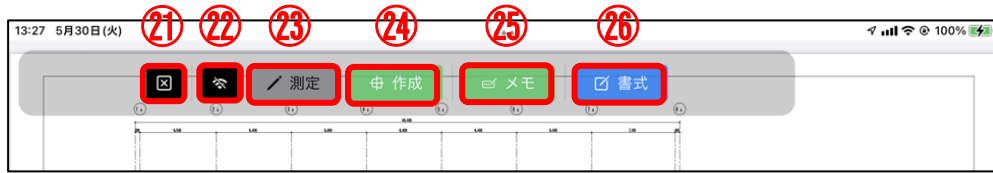
No.	リボンメニュー	機能内容
⑫	作業ウィンドウの表示	【Web 版 Excel のみ表示】 押下後、BLuE for Excel Office Add-In を表示します。
⑬	連携ボタン	本ボタン押下後、BLuEApp と連携します。
⑭	入力後のセル移動ボタン	測定値入力後、自動でセル移動を行うか、設定できます。 (なし/下/右)

## 【PDFEditor】



No.	リボンメニュー	機能内容
⑮	ファイルボタン	表示する PDF ファイルを選択できます。
⑯	測定ボタン	測定ポイントの作成/測定などを行う画面へ遷移します。
⑰	メモボタン	本ボタン押下後、任意の個所を選択するとメモが描画されます。
⑱	設定ボタン	設定画面へ遷移します。
⑲	共有ボタン	本ボタン押下後、CSV ファイルが作成され、iPadOS の機能である共有シートが表示されます。 詳細については、P.69「14.3③CSV ファイル結合出力」を参照してください。
⑳	連携ボタン	本ボタン押下後、BLuEApp と連携します。 背景色 黒：未連携 橙：連携中

⑩測定ボタン押下後、下記のように表示されます。



No.	リボンメニュー	機能内容
⑪	×ボタン	本ボタン押下後、メイン画面へ遷移します。
⑫	連携ボタン	⑩と同様
⑬	測定ボタン	本ボタン押下後、任意の測定ポイントを選択すると、測定値が入力されます。
⑭	作成ボタン	本ボタン押下後、任意の箇所を選択すると、測定ポイントが作成されます。
⑮	メモボタン	⑪と同様
⑯	書式ボタン	本ボタン押下後、下図の「書式設定」が表示され、ポイントの大きさや色、形状等の各種設定ができます。
⑰	測定ポイント インデックス表示トグル	⑯ボタン押下後に表示され、全測定ポイントのインデックス表示の有効/無効を設定できます。
⑱	測定ポイントインデックス	【⑰で有効にした場合のみ表示】 測定ポイントごとにインデックス番号を表示します。



## 9 事前準備

iPad、測定器の基本的な操作については本書では説明しません。それぞれのマニュアルを参照してください。

### 9.1 Excel 帳票、PDF 図面の準備

測定で使用する帳票・図面を使用する iPad にコピーして保存します。

- ◆クラウド上の Excel ファイルまたは PDF 図面を直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる可能性があります。
- ◆PDF 図面のデータ容量が大きいと、図面を開く、拡大・縮小の操作等が遅くなり、また測定値がうまく反映できないことがあります。  
その際は、PDF 図面を分割するなど、データを軽くしてご使用ください。

### 9.2 測定器側の事前設定

以下の測定器に限り、事前に測定器側の事前設定が必要です。

- |                               |        |   |
|-------------------------------|--------|---|
| ・ DCL31DRBT                   | 三和電気計器 | クランプメータ   |
| ・ M-1140X                     | マルチ計測器 | クランプリューカ  |
| ・ M-1141X/XR                  | マルチ計測器 | クランプリューカ  |
| ・ MCL800DX/DXR                | マルチ計測器 | クランプリューカ  |
| ・ NL42A/52A/62A               | リオン    | 騒音計   |
| ・ PM300BT                     | 三和電気計器 | デジタルマルチメータ                                      |
| ・ SK-110TRH-B                 | 佐藤計量器  | 温湿度計  |
| ・ SK-270WP-B                  | 佐藤計量器  | 温度計   |
| ・ SSC/SSI/SSL/SSMseries テクロック |        | デジタルノギス/デジタルインジケータ<br>デジタルてこ式インジケータ/デジタルマイクロメータ |
| ・ TKR12M/TKR12P               | レッキス工業 | 満水試験器Ⅲ型/圧力試験器Ⅲ型                                 |

事前設定内容は、以下の通りです。

- DCL31DRBT  
測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
- M-1140X  
測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。
- M-1141X/XR  
測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。
- MCL800DX/DXR  
測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

➤ NL42A/52A/62A

- ① 測定器の電源を入れ、「MENU/ENTER」ボタンを押します。



- ② 「入出力」を選択します。



- ③ 「通信制御機能」を選択します。



- ④ 「RS-232C」を選択します。



- ⑤ Bluetooth 通信アダプタの乾電池を取り外し、測定器側に表示されている「ボーレート」と Bluetooth 通信アダプタの「ボーレート」を合わせてください。



- PM300BT  
測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
- SK-110TRH-B  
測定器の電源を入れ、「OUT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
- SK-270WP-B  
測定器の電源を入れ、「REC」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。
- SSC/SSI/SSL/SSMseries
  - ① 測定器の電源を入れ、Bluetooth を有効にしてください。
  - ② 拡張設定で「SIMPLE」モードに設定してください。

※手順については、測定器本体の取扱説明書を参照してください。

➤ TKR12M/TKR12P

- ① AppleStore から「みるみるくんデータ収集アプリ」をインストールしてください。
- ② インストール後、アプリを起動してください。  
※本アプリの操作方法については、メーカーサイトを参照してください。
- ③ 測定器の電源を入れ、「収集」ボタンを押してください。



- ④ 使用する測定器のシリアルナンバーが表示されたのを確認し、「試験設定」ボタンを押してください。

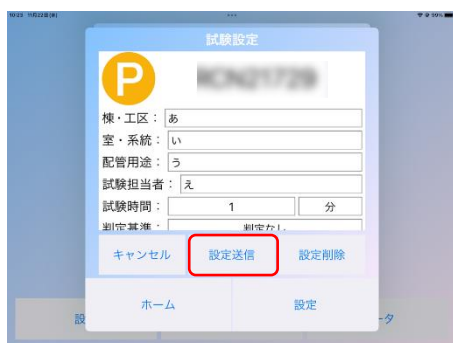


使用する測定器が TKR12P の場合に表示

使用する測定器が TKR12M の場合に表示

- ⑤ 必要項目を入力し、「設定送信」ボタンを押してください。

TKR12P の場合



TKR12M の場合



- ⑥ 送信が完了すると、測定器側が情報を受信し、測定器が自動で再起動します。



### 9.3 測定ポイントの作成(PDFEditorのみ)

測定メニューの「測定」をタップ後、「作成」ボタンをタップすると、測定ポイント作成モードになります。PDF 図面上の任意の箇所をタップすると、測定ポイントが作成されます。



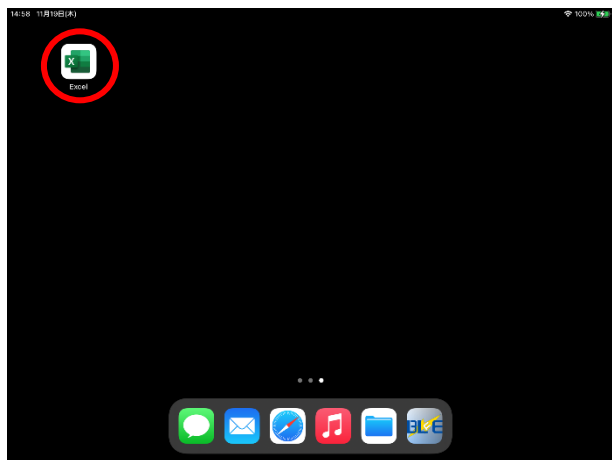
## 10 起動/連携する

アプリ版 Excel を利用される方は P.19 10.1.1 アプリ版 Excel の起動へ、  
 Web 版 Excel を利用される方は P.26 10.2.1 Web 版 Excel の起動へ、  
 PDFEditor を利用される方は P.33 10.3.1 PDFEditor の起動へ それぞれ進んでください。

### 10.1 起動/連携する(アプリ版 Excel)

#### 10.1.1 アプリ版 Excel の起動

ホーム画面から Excel のアイコンをタップします。



#### 10.1.2 試験記録表を読み込む

- ① 測定値を記録する Excel ファイルを開きます。
- ② 使用する Excel ファイルはあらかじめ iPad 内にデータをコピーしてご利用ください。
  - ✦ クラウド上の Excel ファイルを直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる可能性があります。
- ③ 新規作成の場合左側の新規メニューから作成できます。



### 10.1.3 BLuEApp を起動する

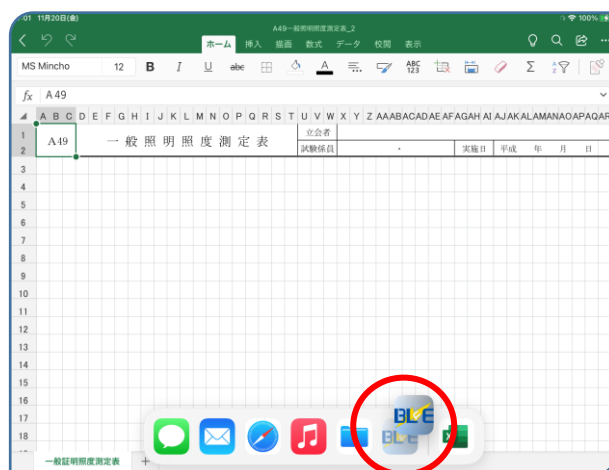
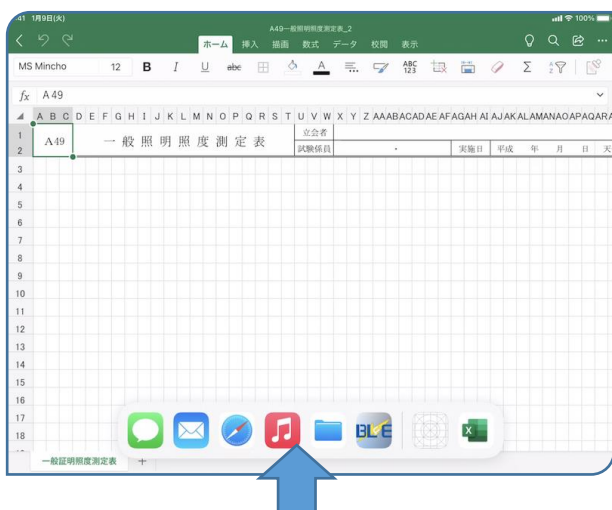
#### ① ドックの呼び出し

Excel の編集画面が表示されている状態で画面中央部の下端を上方向にスワイプし、ドックを呼び出します。

#### ② BLuEApp の SlideOver 起動

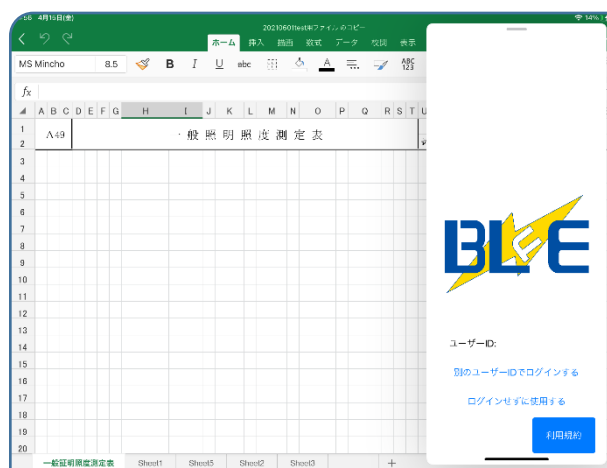
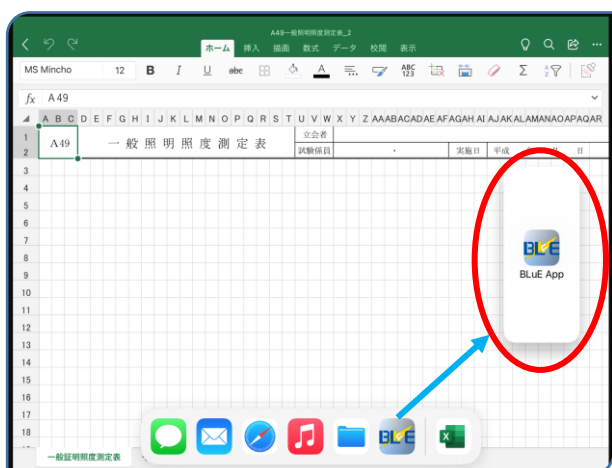
##### (ア) BLuEApp の SlideOver 起動 1

ドック上の BLuEApp をロングタップし、ドラッグできる状態にします。

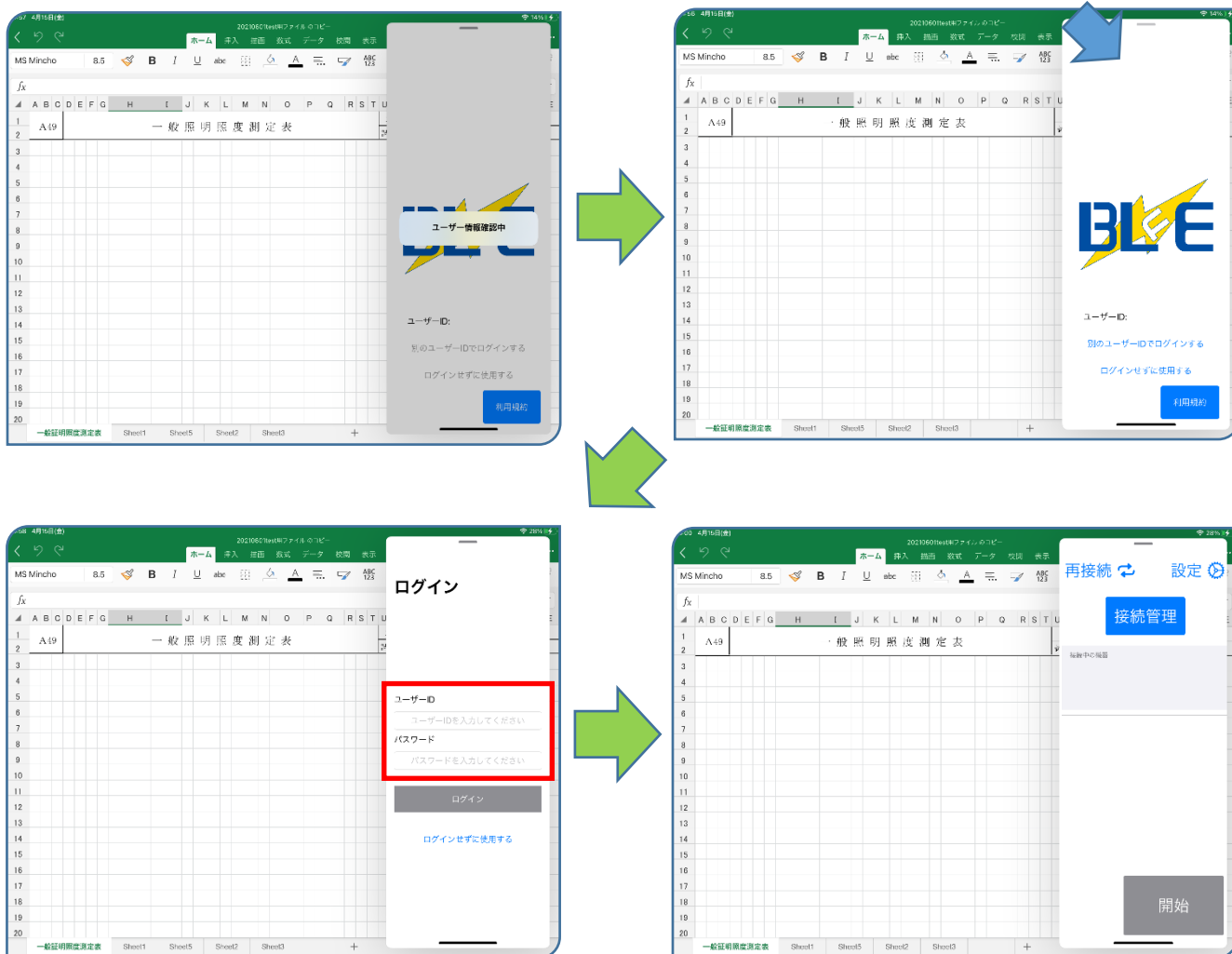


##### (イ) BLuEApp の SlideOver 起動 2

ロングタップした状態から Excel の画面の上にドラッグし、指を離すと Excel の上に BLuEApp が起動します。

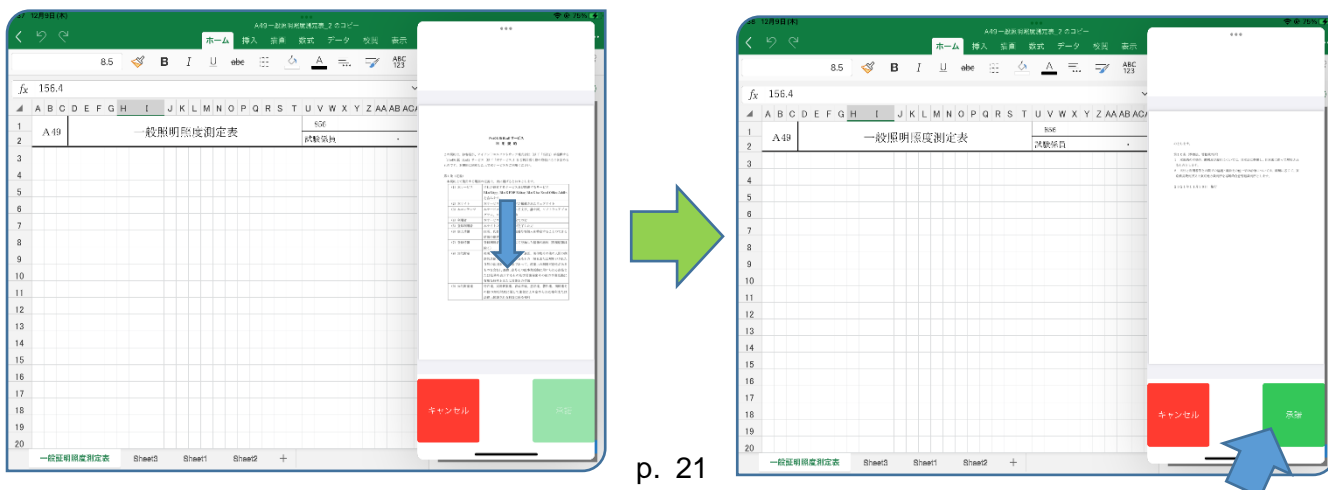


BLuEApp 起動後、「ユーザー情報確認中」のポップアップがでますが、2~3 秒後には消えて、ユーザ ID が入力できるようになります。任意の箇所をタップすると、ログイン画面に移行し、「ユーザーID・パスワード」を入力することで、システムを利用できるようになります。



**【補足事項】**

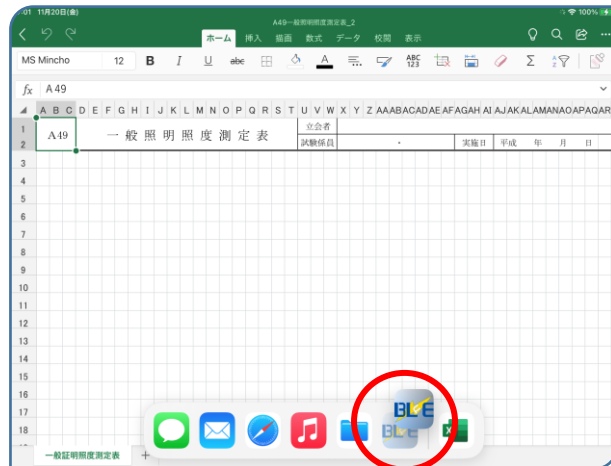
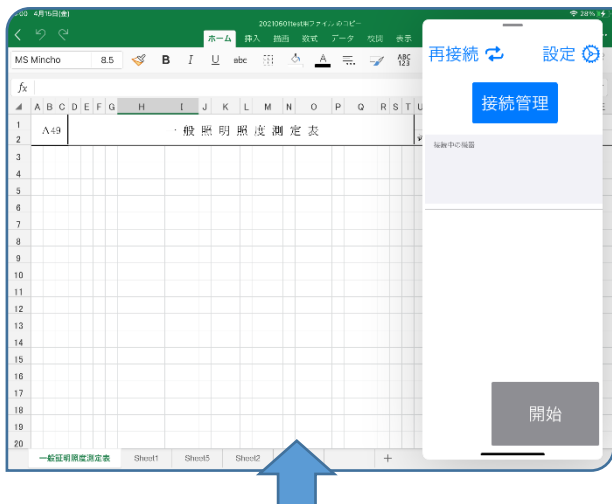
初回に限り、BLuEApp 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。



### ③ BLuEApp の SplitView 起動

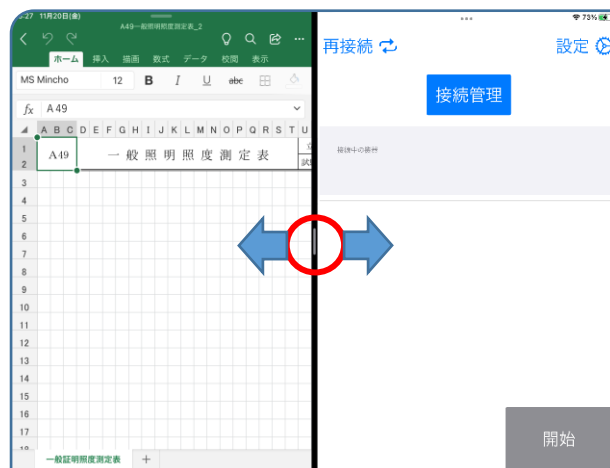
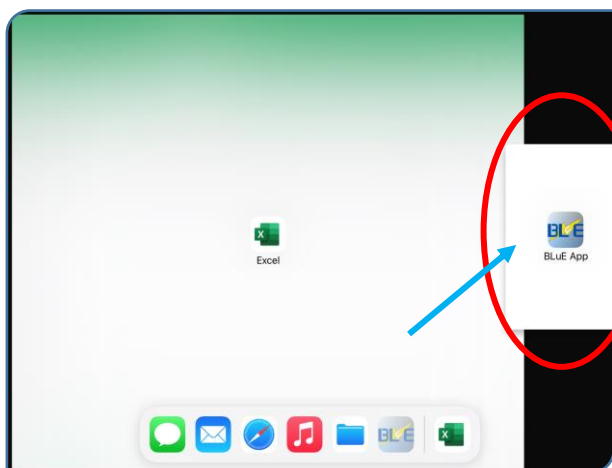
#### (ア) BLuEApp の SplitView 起動 1

ドック上の BLuEApp をロングタップし、ドラッグできる状態にします。



#### (イ) BLuEApp の SplitView 起動 2

ロングタップした状態から Excel の左右にドラッグし、指を離すと Excel の左右に BLuEApp が起動します。アプリの境界を左右にドラッグすることで、左右のアプリの境界を 1:1,2:1,1:2 のサイズに変更できます。



#### ④ BLuEApp の SplitView/SlideOver 切替

SplitView の状態から BLuEApp の上部を下方方向にドラッグし、Excel 上で指を離すと、SlideOver の状態になります。

また、SlideOver の状態から同様に BLuEApp の上部を下方方向にドラッグし、Excel の左右で指を離すと、SplitView の状態になります。



### 10.1.4 Office アドインの挿入

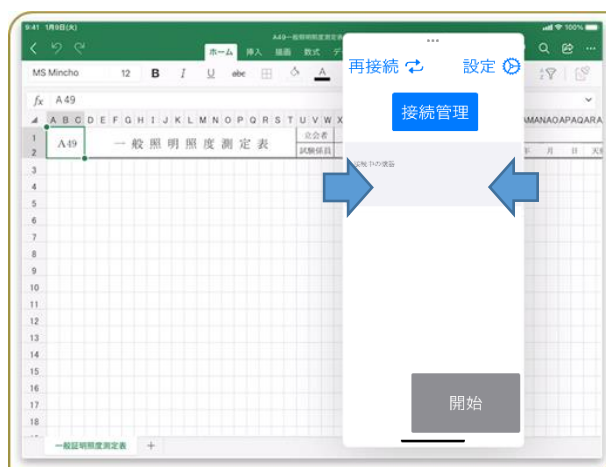
Excel の対象ファイルに測定値を入力できるようにするため、Office アドインを挿入します。

#### ① BLuEApp の移動

SlideOver した BLuEApp は Excel の編集画面に重なるように表示されます。

BLuEApp の端をスワイプすることで、表示位置を移動させることができます。

また、右側の画面外に向かってスワイプすると、一時的に画面の外に移動させることもできます。画面右外に移動した BLuEApp を画面内に戻す場合、画面右端を画面内に向かってスワイプします。

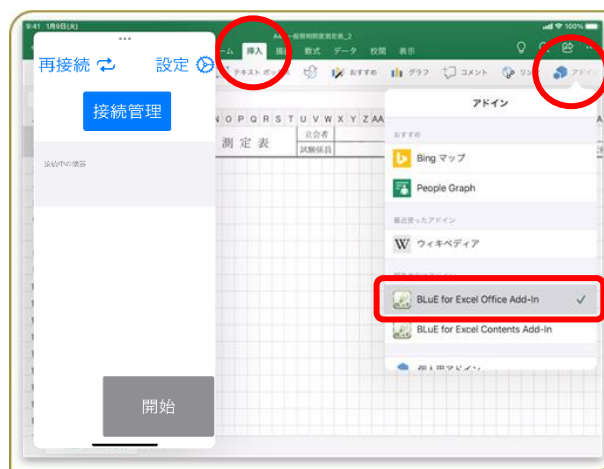


## ② Office アドインの挿入

Excel のメニューから挿入-アドインを選択し、「BLuE for Excel Office Add-In」を選択します。

### 注記

- ◇ アドインが表示されない場合、インストール手順書を参照し手順が完了しているか確認してください。
- ◇ BLuEApp によって Excel のメニューが隠れる場合、「①BLuEApp の移動」を参照し、BLuEApp を移動してください。
- ◇ 本手順を行う際に BLuEApp が画面上に表示されていないと、アドインエラーとなります。Excel・BLuEApp 両方が表示されていることを確認して、Office アドインの挿入をしてください。



### 10.1.5 BLuEApp と Excel を連携する

BLuEApp を前面に表示した状態で Office アドインの「連携」ボタンをタップすると、連携できます。

#### 注記

- ◇ BLuEApp が前面に表示されている状態で Office アドインを含むファイルが開かれた場合、BLuEApp と Office アドインは連携します。
- ◇ ほかのアプリケーションを使用する、画面がロックされる、BLuEApp を画面外にスワイプするなどにより BLuEApp が前面に表示されない状態になった場合、BLuEApp と Office アドインの連携が解除されることがあります。
- ◇ 連携していない状態では、測定値を Excel に入力できません。



P.39 「11 接続/切断する」へ進んでください。

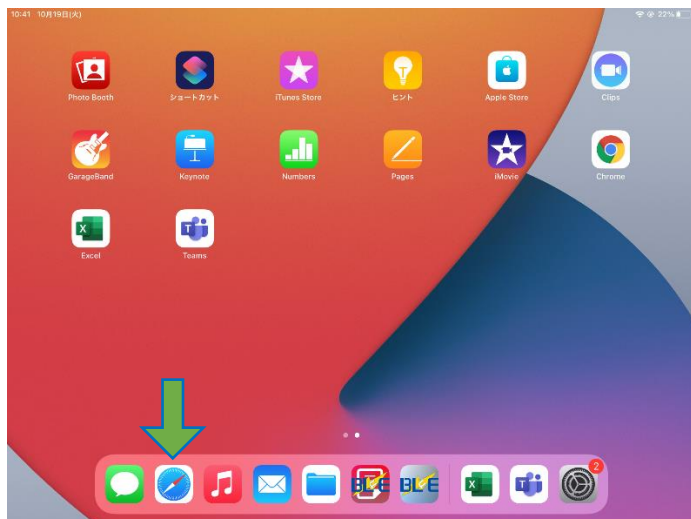


## 10.2 起動/連携する(Web 版 Excel)

### 10.2.1 Web 版 Excel の起動

#### (ア) Safari を起動する

アイコンをタップして起動します。



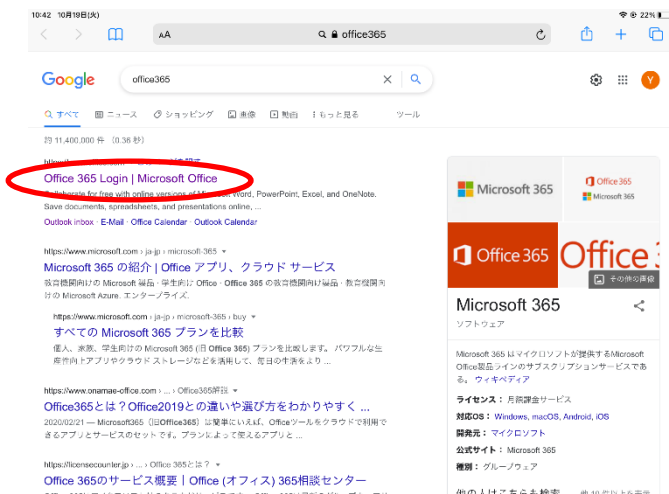
#### (イ) Office365 を検索する

起動した safari のアドレスフィールドに「office365」を入力して検索します。



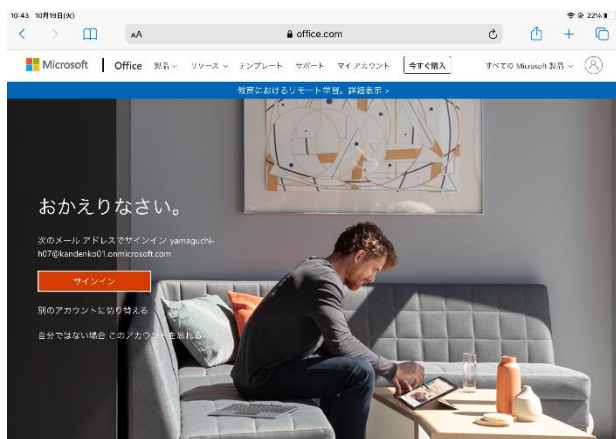
## (ウ) Office365 を起動する

検索結果の「Office365 Login」を選択し、ログインします。



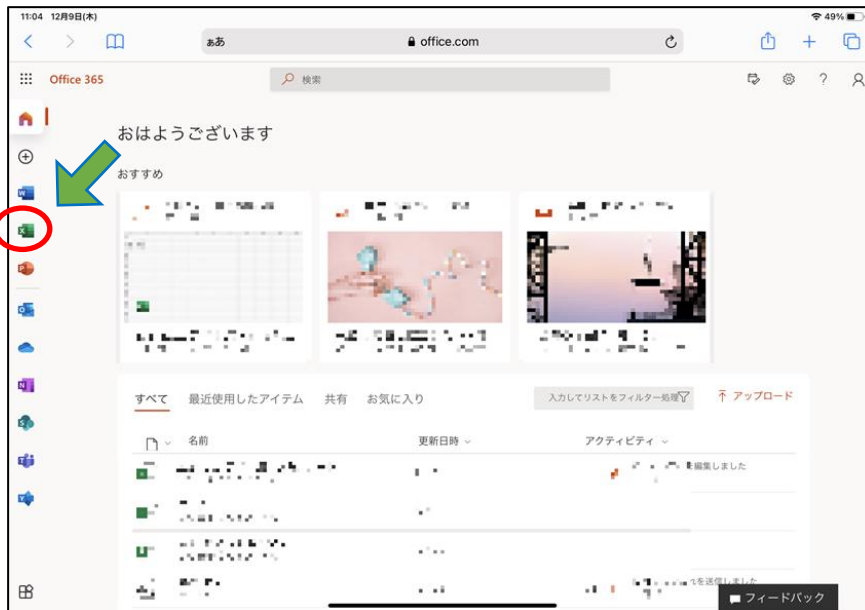
サインインしていない場合は、下記画面が表示されるので、サインインします。

サインイン済の場合は、次頁項番②（エ）の画面が表示されます。



## (工) Web 版 Excel の起動

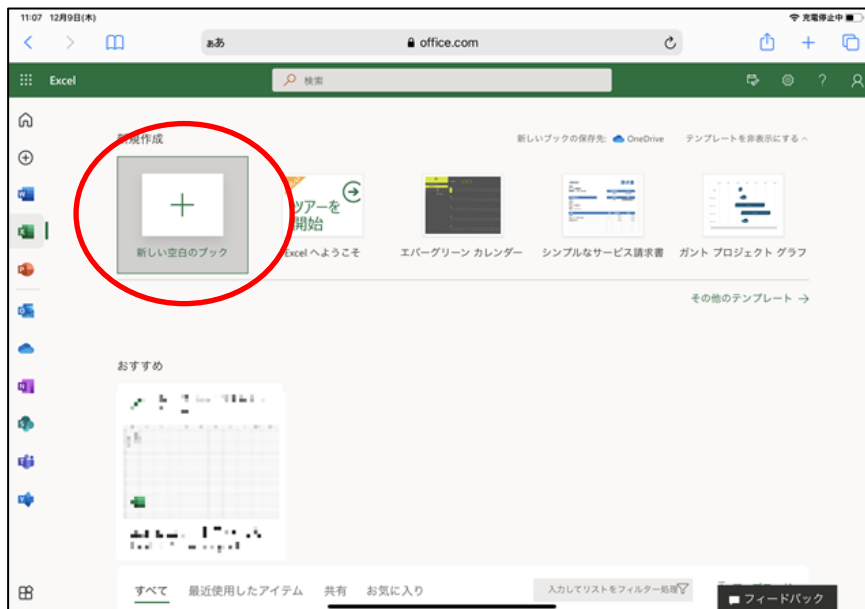
画面左のアイコンから Excel をタップして起動します。



## (オ) フォーマットの選択

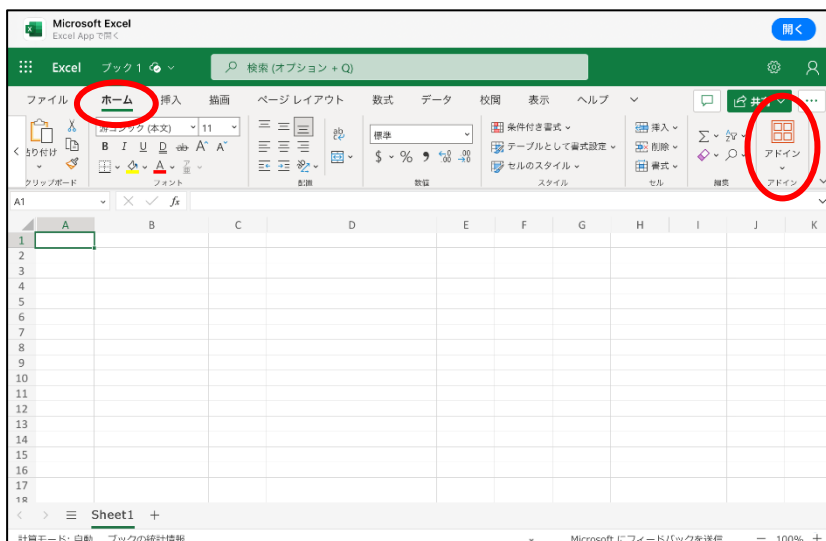
使用する Excel のフォーマットを選択します。

例として「新しい空白のブック」を選択します。



## (カ) BLuE コマンドの生成

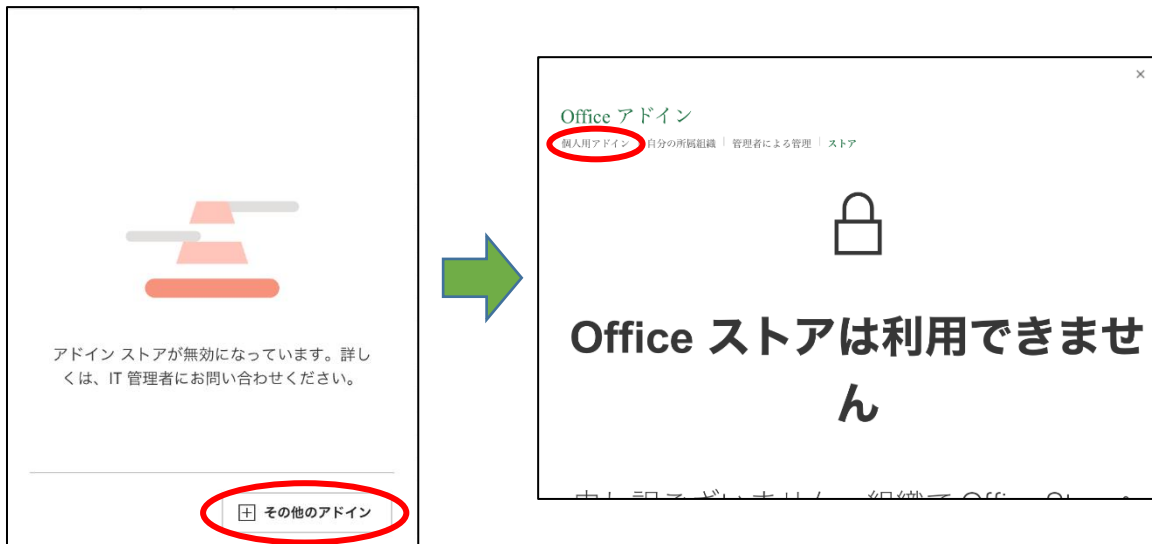
Excel リボンの「ホーム」を選択し、表示された「アドイン」を選択します。



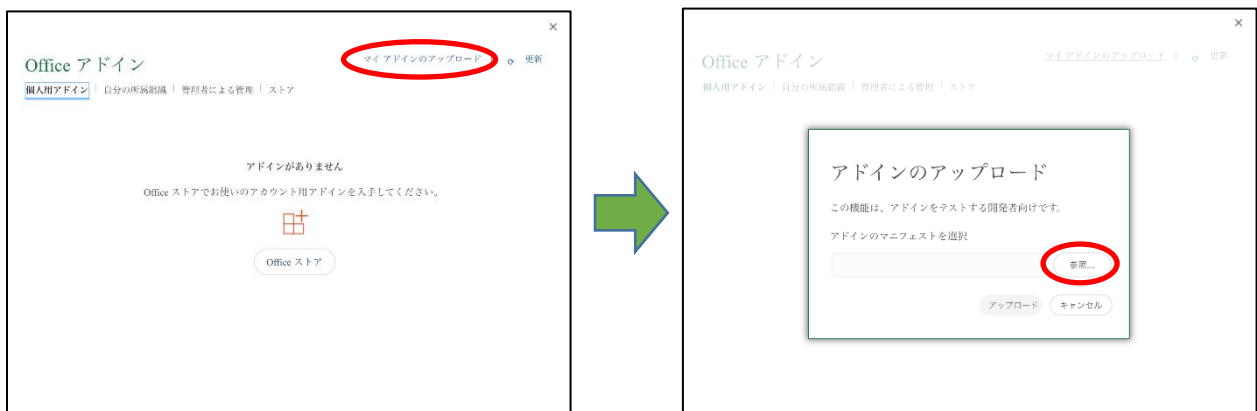
「ホーム」下の表示したメニューに「アドイン」が無い場合は、右にスクロールしアドインを選択します。



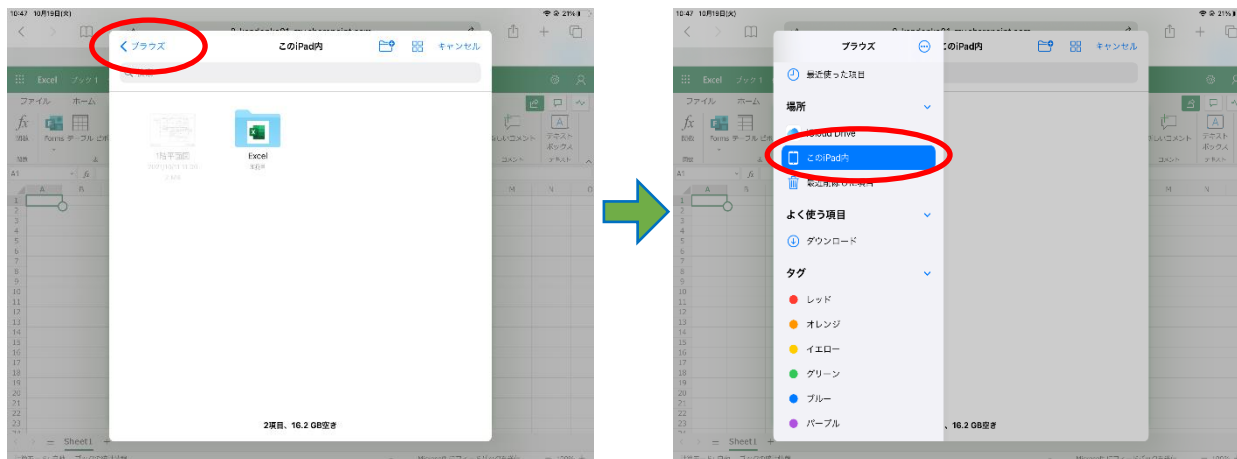
「アドインストアが無効になっています。詳しくは、IT 管理者にお問い合わせください。」の画面表示  
右下の「田その他のアドイン」ボタンをタップします。「Office ストアは利用できません」と表示されま  
すが、左上の「個人用アドイン」を選択します。



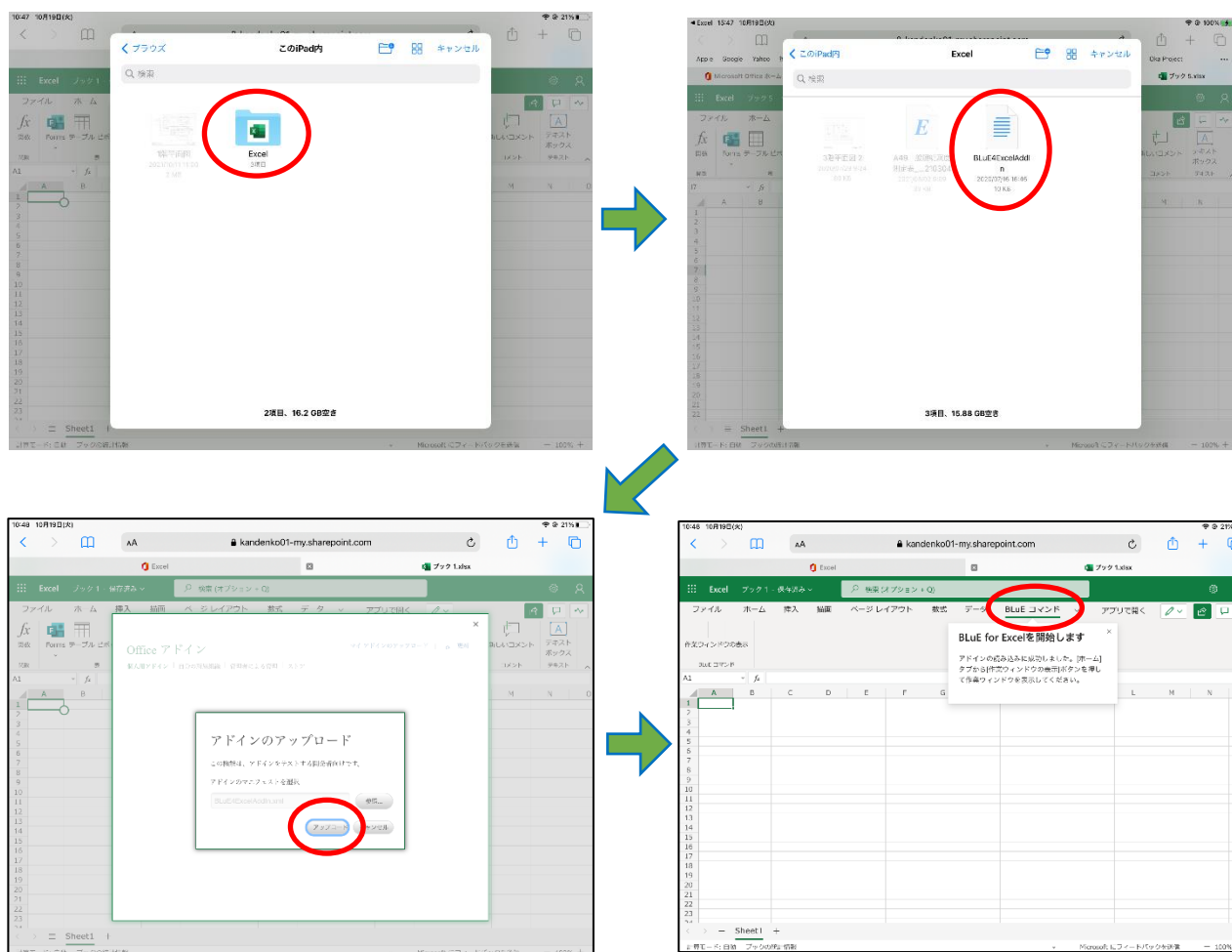
表示された Office アドイン画面の「マイアドインのアップロード」をタップし、  
ダイアログポップアップの「参照」ボタンを押下します。



「ブラウズ」をタップ後、「この iPad 内」を選択します。



「Excel」を選択後、「BLuE4ExcelAddIn」を選択し、「アップロード」ボタンを押下すると、Excel のリボンに「BLuE コマンド」が追加されます。



Excel リボンの「BLuE コマンド」を選択後、「作業ウィンドウの表示」を押下すると、Excel 画面の右側に「BLuE for Excel Office Add-In」が表示され、連携中となっていれば利用できます。「連携中」となっていない場合は、「連携」ボタンを押下してください。このとき BLuEApp が Excel の右側に表示されている場合、BLuEApp 上段の「…」を長押しした状態で、BLuEApp を左側に移動してください。



#### 注記

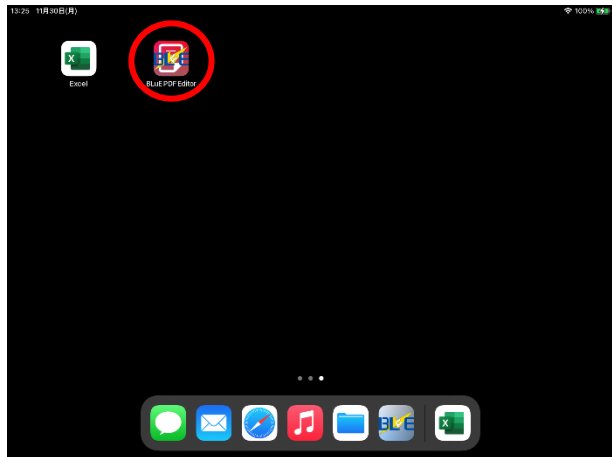
◇ BLuEApp の起動方法については、P.20「10.1.3 BLuEApp を起動する」をご確認ください。

**P.39 「11 接続/切断する」へ進んでください。**

## 10.3 起動/連携する(PDFEditor)

### 10.3.1 PDFEditor の起動

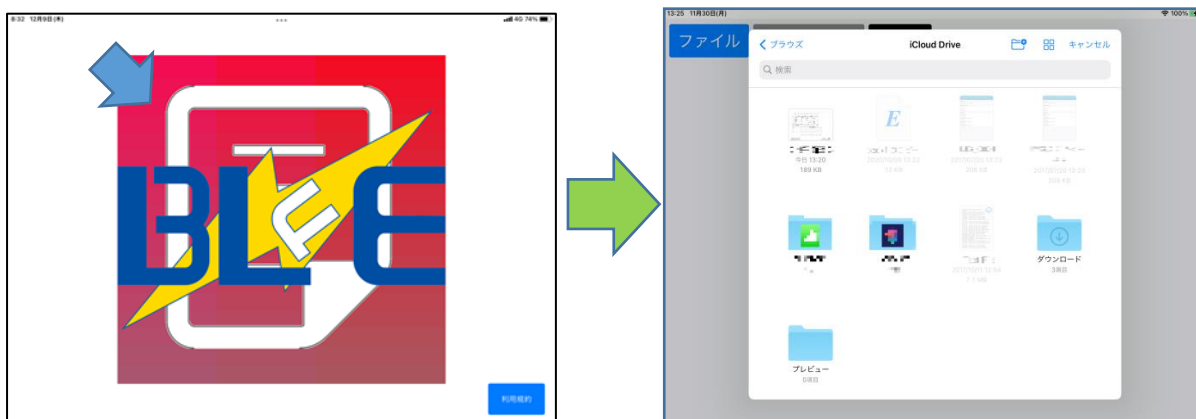
ホーム画面から PDFEditor のアイコンをタップします。



### 10.3.2 PDF 図面を読み込む

PDFEditor が起動すると、利用規約画面が表示されます。

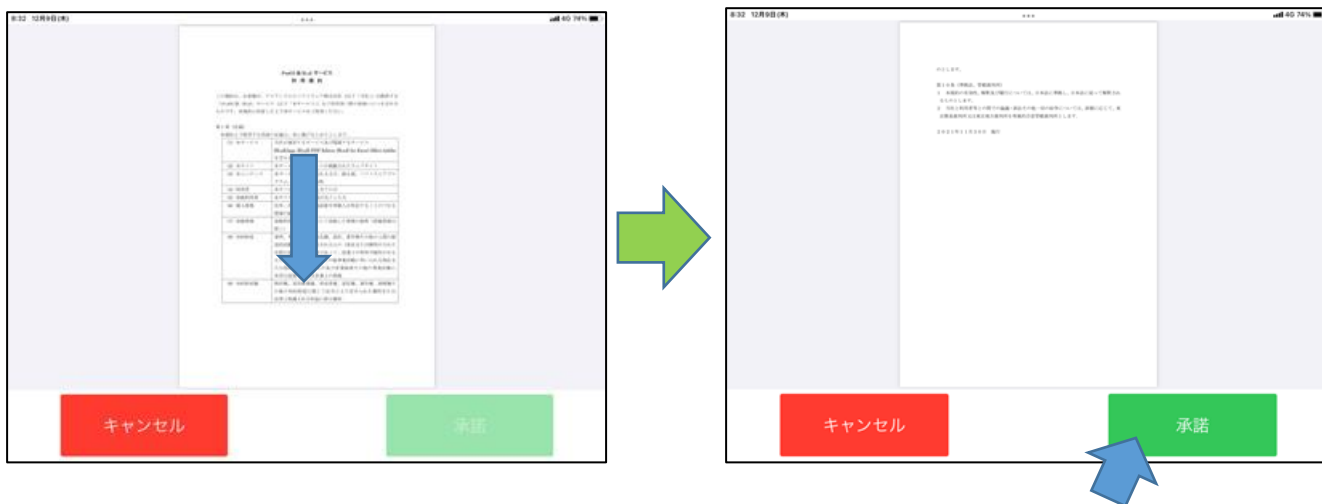
任意の箇所をタップすると、メイン画面に移行し、システムが利用できるようになります。





**【補足事項】**

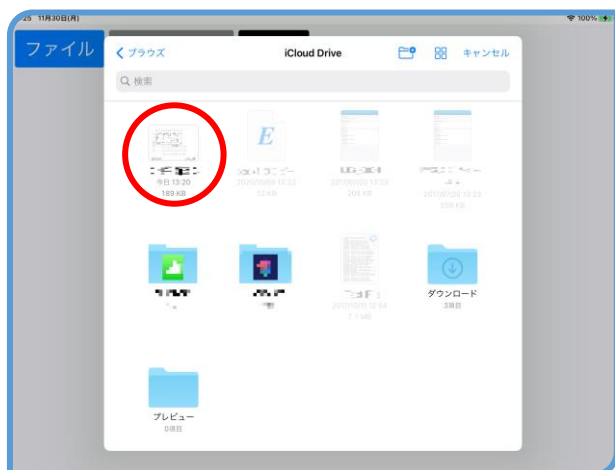
初回に限り、PDFEditor 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。



PDFEditor では編集内容が自動で保存されます。編集元のファイルを保持したい場合、ファイル App などを用いてあらかじめコピーを作成してから測定を行ってください。

- ① 使用する PDF 図面は、あらかじめ iPad 内にデータをコピーしてご利用ください。
  - ✦ クラウド上の PDF 図面を直接開いて使用すると、測定値が反映されないなど、動作が不安定になる可能性があります。
  - ✦ PDF 図面のデータ容量が大きいと、図面を開く、拡大・縮小の操作等が遅くなり、また測定値がうまく反映できないことがあります。

その際は、PDF 図面を分割するなど、データを軽くしてご使用ください。
- ② ブラウズをタップすると任意の場所を選択できます。PDFEditor が参照可能なフォルダが表示されます。表示されていないフォルダは、PDFEditor から参照できないフォルダです。PDFEditor が参照可能なフォルダにファイルを配置してください。
- ③ 測定値を記録する PDF 図面を選択して開きます。



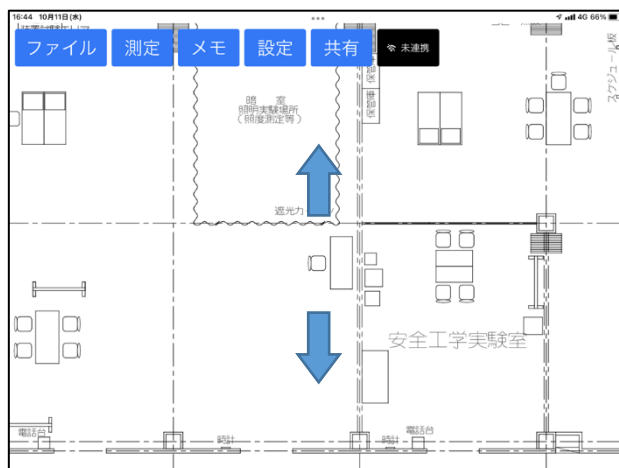
### 10.3.3 PDFEditor の基本操作

PDFEditor の基本操作を説明します。起動後にファイル選択を行うかキャンセルすると、左上に「ファイル」「測定」「メモ」「設定」「未連携（連携中）」のボタンのある画面が表示されます。

この画面を以降メイン画面と称します。

#### ① ページ送り

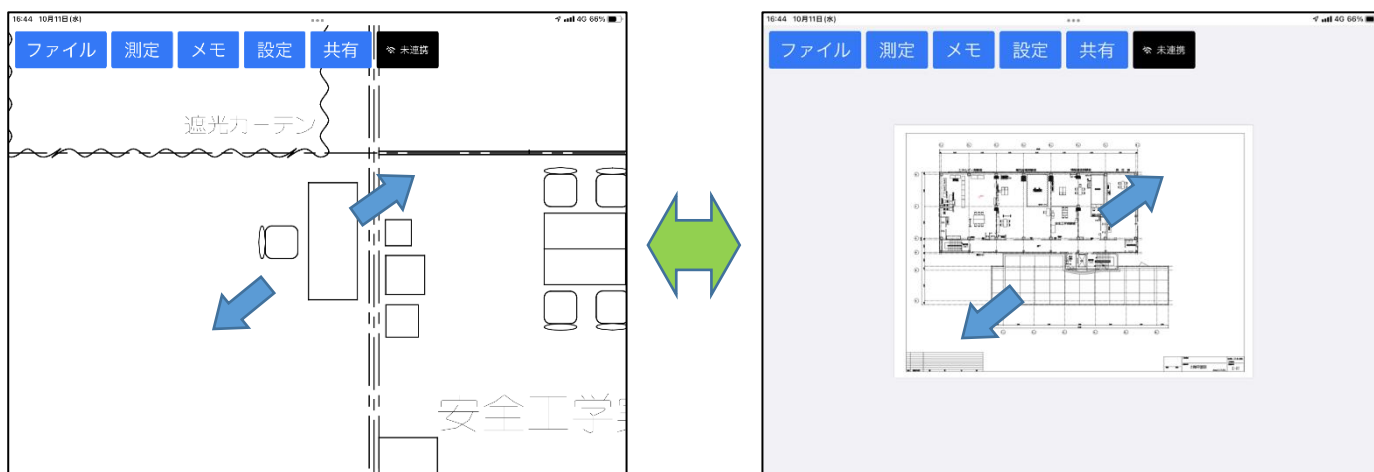
PDF 図面が複数ページある場合、画面を上下にスワイプすることでページを切り替えることができます。



#### ② 拡大/縮小

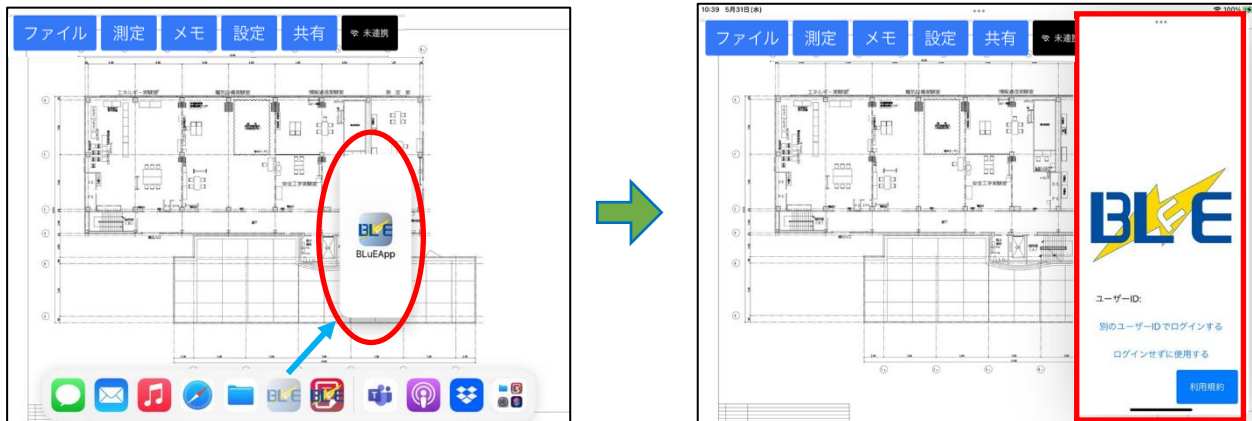
画面をピンチアウトすると表示が拡大します。ピンチインすると縮小します。

ダブルタップすると標準の倍率に戻ります。



### 10.3.4 BLuEApp を起動する

ドック上の BLuEApp をロングタップしドラッグできる状態にし、  
ドックから BLuE コントローラを PDFEditor 上にドラッグして起動します。

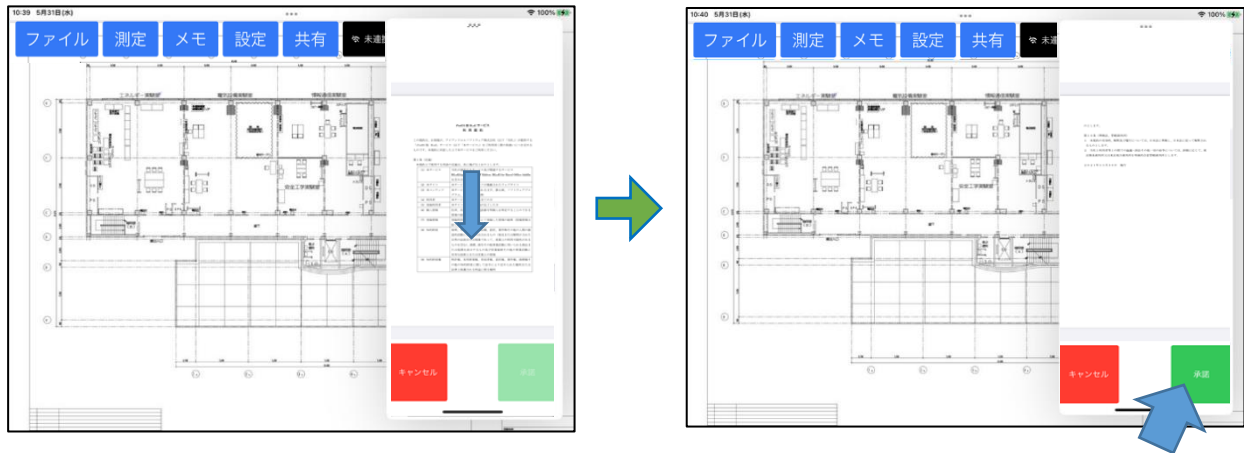


BLuEApp 起動後、「ユーザー情報確認中」のポップアップがでますが、2~3 秒後には消えて、ユーザ ID が入力できるようになります。任意の箇所をタップすると、ログイン画面に移行し、「ユーザーID・パスワード」を入力するとシステムが利用できるようになります。



【補足事項】

初回に限り、BLuEApp 起動後に利用規約が表示され、画面をタップすると、以下のような画面になります。利用規約内容を確認し、下までスクロールすると、「承諾」ボタンが押せるようになるので押してください。



### 10.3.5 BLuEApp と PDFEditor を連携する

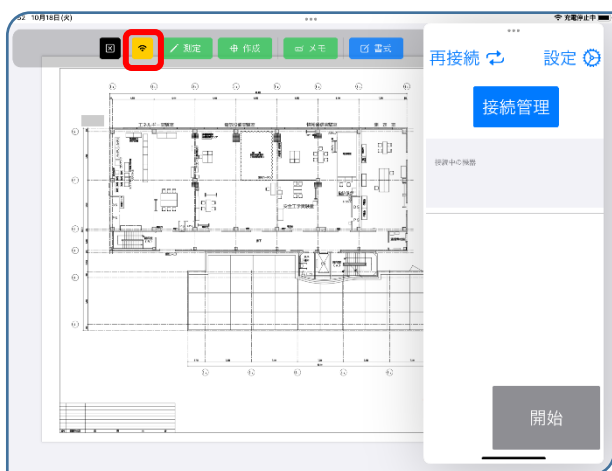
BLuEApp を前面に表示した状態で「未連携」 ボタンをタップすると、「連携中」になります。

#### 注記

- ◇ 他のアプリケーションを使用する、画面がロックされる、BLuEApp を画面外にスワイプするなどにより BLuEApp が前面に表示されなくなった場合、BLuEApp と PDFEditor の連携が解除されることがあります。
- ◇ 連携していない状態では、測定値を PDFEditor に入力できません。



後述の測定メニュー内でも連携できます。



**P.39 「11 接続/切断する」へ進んでください。**

## 11 接続/切断する

### 11.1 測定器と接続する

測定器と BLuEApp を無線通信で接続します。

#### ① 通常の接続

##### (ア) 接続対象機種一覧

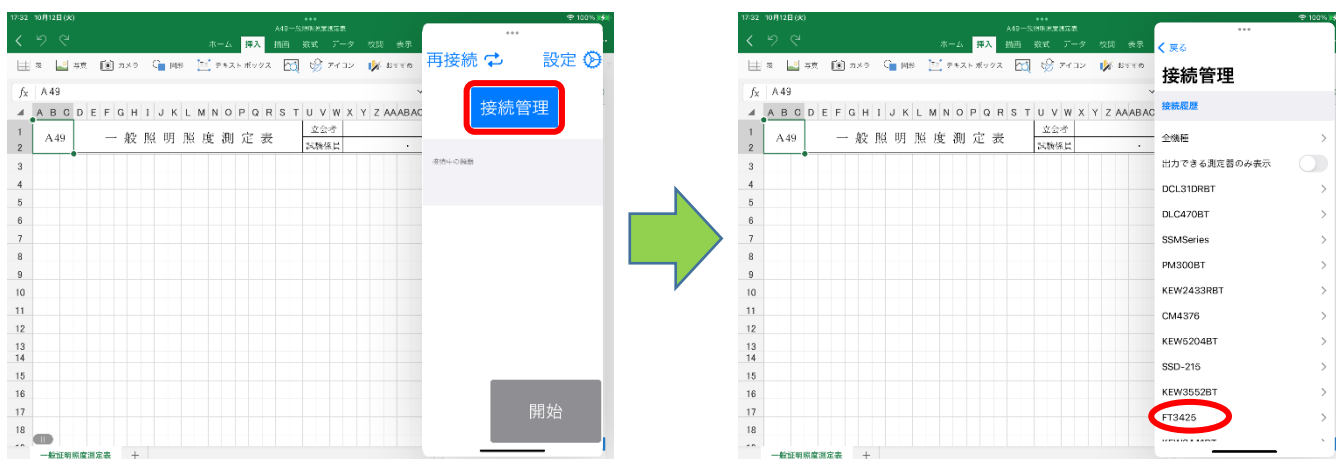
BLuEApp の「接続管理」ボタンをタップし、接続対象機種一覧を表示します。

##### (イ) 測定器の機種選択

接続したい機種を選択します。

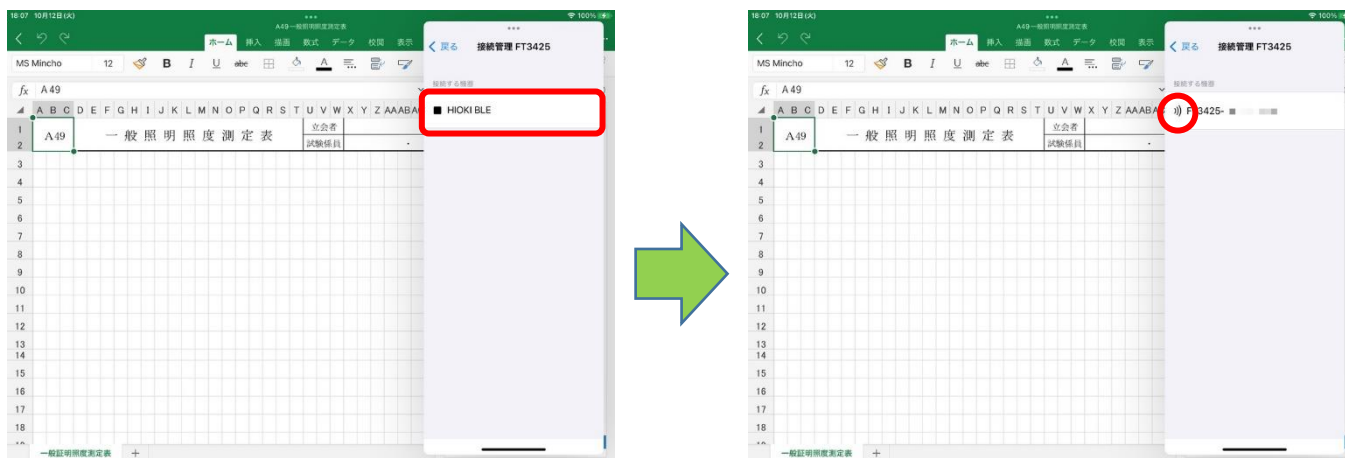
- ◇ 全機種を選択：測定できるすべての機種を周辺から探し出します。
  - ◇ 個別の機種を選択：該当の機種を周辺から探し出します。
- 対象の測定器が見つかった場合「接続する機器」として表示します。

※各測定器の接続前/接続後の表記については、P.43・P.44 表 1 を参照してください。



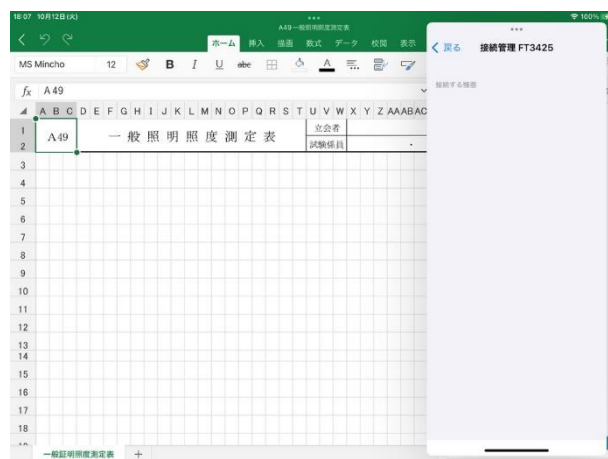
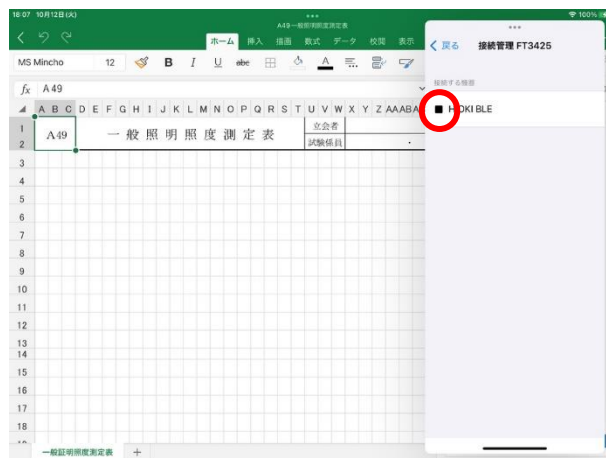
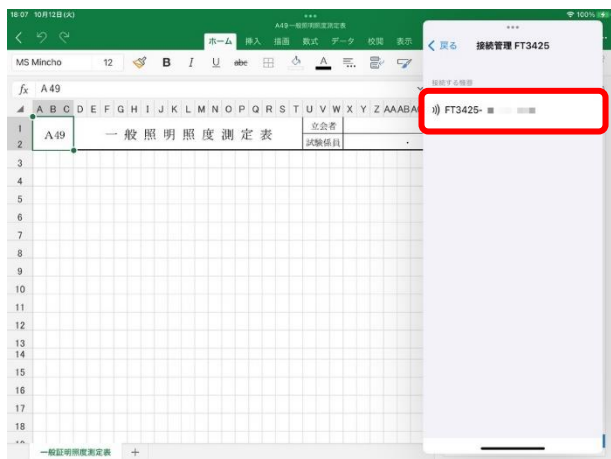
##### (ウ) 測定器の選択

見つかった測定器のうち測定したい測定器をタップします。対象の測定器と接続が完了すると左端のマークが「」に変わります。



## (工) 測定器との切断

接続中の測定器をタップすると測定器との通信が切断されます。対象の測定器との切断が完了すると左端のマークが「 ■ 」に変わります。

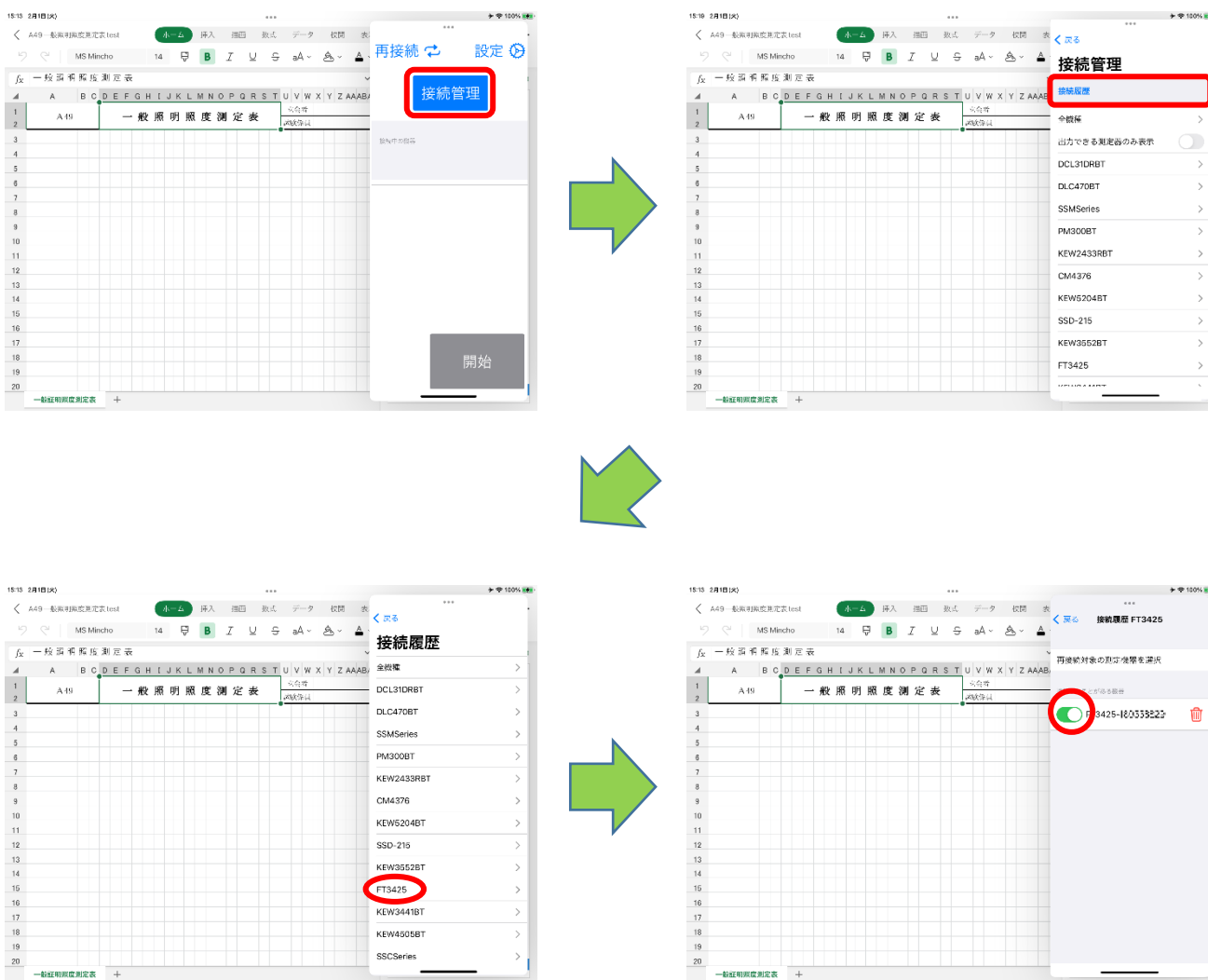


## ② 再接続

「11.1①通常の接続」で接続したことのある測定器の場合は、「(イ) 再接続ボタンによる再接続」の手順、または「P.56 14.1②起動時再接続」を有効にすることによって再接続できます。「(ア) 接続履歴確認」の手順で確認可能な「再接続対象トグル」が有効の測定器が再接続の対象となります。

### (ア) 接続履歴確認

BLuEAppの「接続管理」ボタンをタップし機種選択画面を表示します。その後、「接続履歴」ボタンをタップします。全機種、または接続したい対象機種 of 行を選択します。その後、接続したい測定器の「再接続対象トグル」が有効になっていることを確認してください。(無効の場合は有効にしてください。)





### (イ) 再接続ボタンによる再接続

メイン画面の「再接続」ボタンをタップしてください。対象の測定器との接続が完了すると、「接続中の機器」に測定器名が表示されます。



### 注記

- ◇ 起動時再接続を設定したい場合は、P.56「14.1②起動時再接続」を参照してください。有効にするとBLuEApp起動後に、再接続対象の測定器と自動で接続します。

BLuE に対応した測定器の検索時と接続時の表示は、以下のとおりです。

※「XXXX」は各測定器のシリアルNo

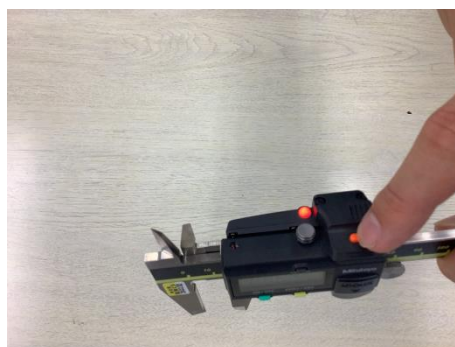
**表1 各測定器の接続前/接続後の表記**

型番	検索時	接続時	備考
AF101	AF101	AF101-XXXXXXXX または、 AF101-serial missing	
AF111	AF111	AF111-XXXXXXXX または、 AF111-serial missing	
CD-AXシリーズ	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	UWAVE-XXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	※ 1
CM4371-50	Z3210V2.10:CM4371#XXXXXXXXX	CM4371-50-XXXXXXXXX	
CM4373-50	Z3210V2.10:CM4373#XXXXXXXXX	CM4373-50-XXXXXXXXX	
CM4375-50	Z3210V2.10:CM4375#XXXXXXXXX	CM4375-50-XXXXXXXXX	
CM4376	HIOKI BLE または CM4376#XXXXXXXXX	CM4376-XXXXXXXXX	
DCL31DRBT	DCL31DR_XXXXXXXXXX	DCL31DR_XXXXXXXXXX	
DLC470BT	DLC470BT_XXXXXXXXXX	DLC470BT_XXXXXXXXXX	
DT4261	Z3210V2.10:DT4261#XXXXXXXXX	DT4261-XXXXXXXXX	
FT3425	HIOKI BLE	FT3425-XXXXXXXXX	
FT6380-50	Z3210V2.10:FT6380#XXXXXXXXX	FT6380-50-XXXXXXXXX	
GAシリーズ	"EDMI-TP V4_XXXX BLE"または EDMI V4_XXXX BLE	OsakiEMSeries(XXXXX)	
IES-5000	IES-5000	IES-5000-XXXXXX	
IR4052-50/51	Z3210V2.10:IR4052#XXXXXXXXX	IR4052-50-XXXXXXXXX	
IR4055-11	HIOKI BLE または IR4055#XXXXXXXXX	IR4055-XXXXXXXXX	
KEW2433RBT	KEW2433RBT-XXXXXXXXX	KEW2433RBT-XXXXXXXXX	
KEW3441BT	KEW3441BT-XXXXXXXXX	KEW3441BT-XXXXXXXXX	
KEW3552BT	KEW3552BT-XXXXXXXXX	KEW3552BT-XXXXXXXXX	
KEW4105DLBT-H	Bluetooth 4.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXXX Bluetooth 5.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXXX	Bluetooth 4.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXXX Bluetooth 5.0は KEW4105DLBT-XXXXXXXXX	
KEW4300BT	KEW4300BT-XXXXXXXXX	KEW4300BT-XXXXXXXXX	
KEW4505BT	KEW4505BT-XXXXXXXXX	KEW4505BT-XXXXXXXXX	
KEW5204BT	KEW5204BT-XXXXXXXXX	KEW5204BT-XXXXXXXXX	
KEW6041BT	KEW6041BT-XXXXXXXXX	KEW6041BT-XXXXXXXXX	
M-1140X/XR	M-1140X	M-1140X-XXXXXXXXXXXXX	

型番	検索時	接続時	備考
M-1141X/XR	M-1141X	M-1141X-XXXXXXXXXXXX	
MCL-800DX/DXR	MCL-800DX	MCL-800DX-XXXXXXXXXXXX	
MDC-MXシリーズ	UWAVE-XXXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	UWAVE-XXXXXXXXXX または UWAVE-serial missing	※ 1
MET-10X	MET-10X	MET-10X-XXXXXXXXXXXX	
NL42A/52A/62A	BA-01	NLSeries-XXXXXXXXXXXX	
PD3259-50	Z3210V2.10:PD3259#XXXXXXXXXX	PD3259-50-XXXXXXXXXX	
PM300BT	PM300BT_XXXXXXXXXXXX	PM300BT_XXXXXXXXXXXX	
SK-110TRH-B	SK-110TRH-B-XXXXXX	SK-110TRH-B-XXXXXX	
SK-270WP-B	SK-270WP-B-XXXXXX	SK-270WP-B-XXXXXX	
SSCシリーズ	SY295	SSCSeries(SY295)	
SSIシリーズ	SY289 SY303	SSISeries-XXXXXXXXXX	
SSLシリーズ	SY308	SSLSeries-XXXXXXXXXX	
SSMシリーズ	SY276	SSMSeries(SY276)	
TKR12M	REXmiru_TCXXXXXX	TKR12M-TCXXXXXX	
TKR12P	REXmiru_RCXXXXXX	TKR12P-RCXXXXXX	
6006-BT	6006-BT XXXXXX	6006-BT XXXXXX	

※1 CD-AXシリーズ・MDCシリーズ BLuEと接続する際の注意事項

測定器の電源を ON にし、BLuE と接続する前に、「データ」ボタンを押す。  
 押すと、ランプがオレンジ色に発光・点滅する。



この状態の時に、BLuE と接続を行ってください。  
 接続が完了すると、オレンジ色に発光・点滅していた部分が、緑色に発光・点滅します。  
 これで完了です。

## 12 測定する

Excel を利用される方は P.45 12.1 測定を行う(Excel)へ、

PDFEditor を利用される方は P.51 12.2 測定を行う(PDFEditor)へ それぞれ進んでください。

### 12.1 測定を行う(Excel)

測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

#### ① 測定対象の選択

接続中の機器に表示されているトグルを有効にすると、測定対象になります。

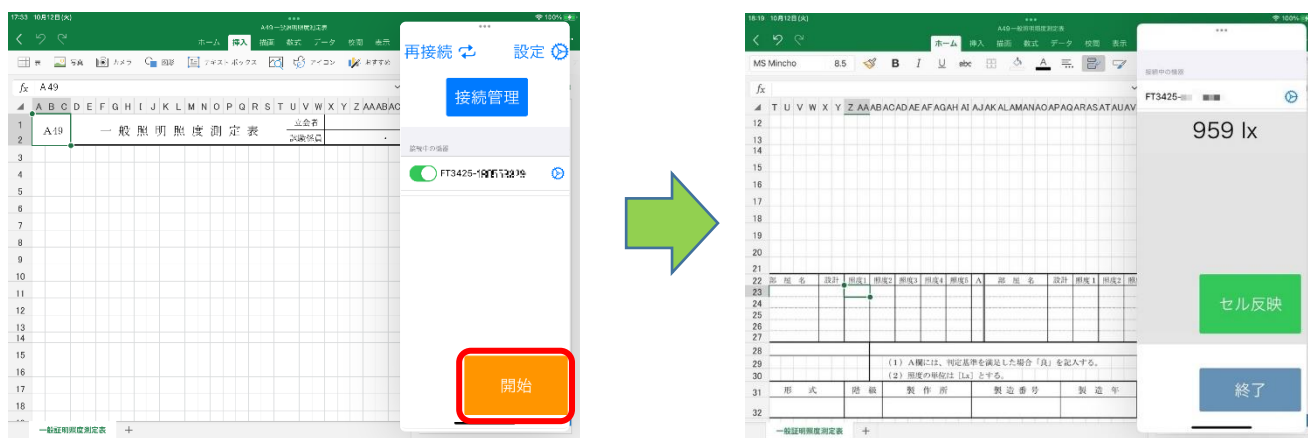
注記

- ◇ 測定対象トグルがどれも有効になっていないと、測定できません。
- ◇ 一度に測定できる測定器は1つまでです。



#### ② 測定値取得の開始

BLuEApp の「開始」ボタンをタップすると、測定を開始します。

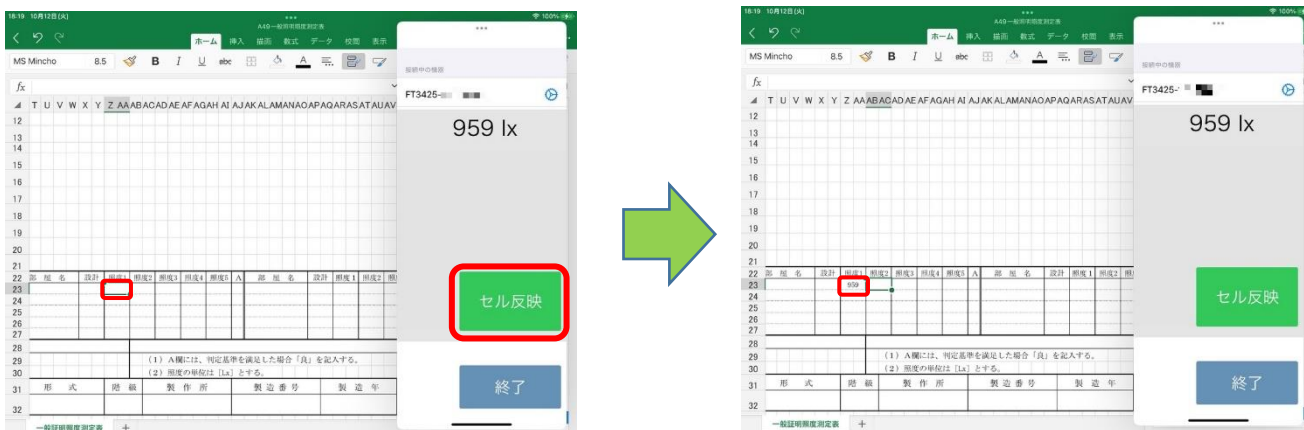


### ③ Excel に測定値を反映する

入力方法は、以下の通りになります。

#### 「セル反映ボタン」を押して入力する手順（例：FT3425 の場合）

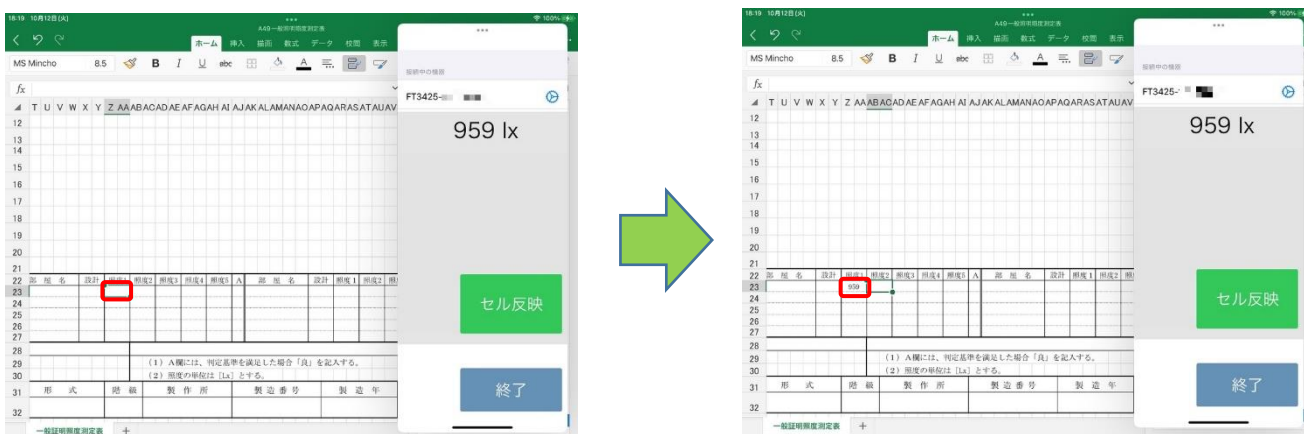
入力したいセルをタップし、BLuEApp の「セル反映」ボタンをタップすると、選択したセルに測定値が入ります。



#### 「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425 の場合）

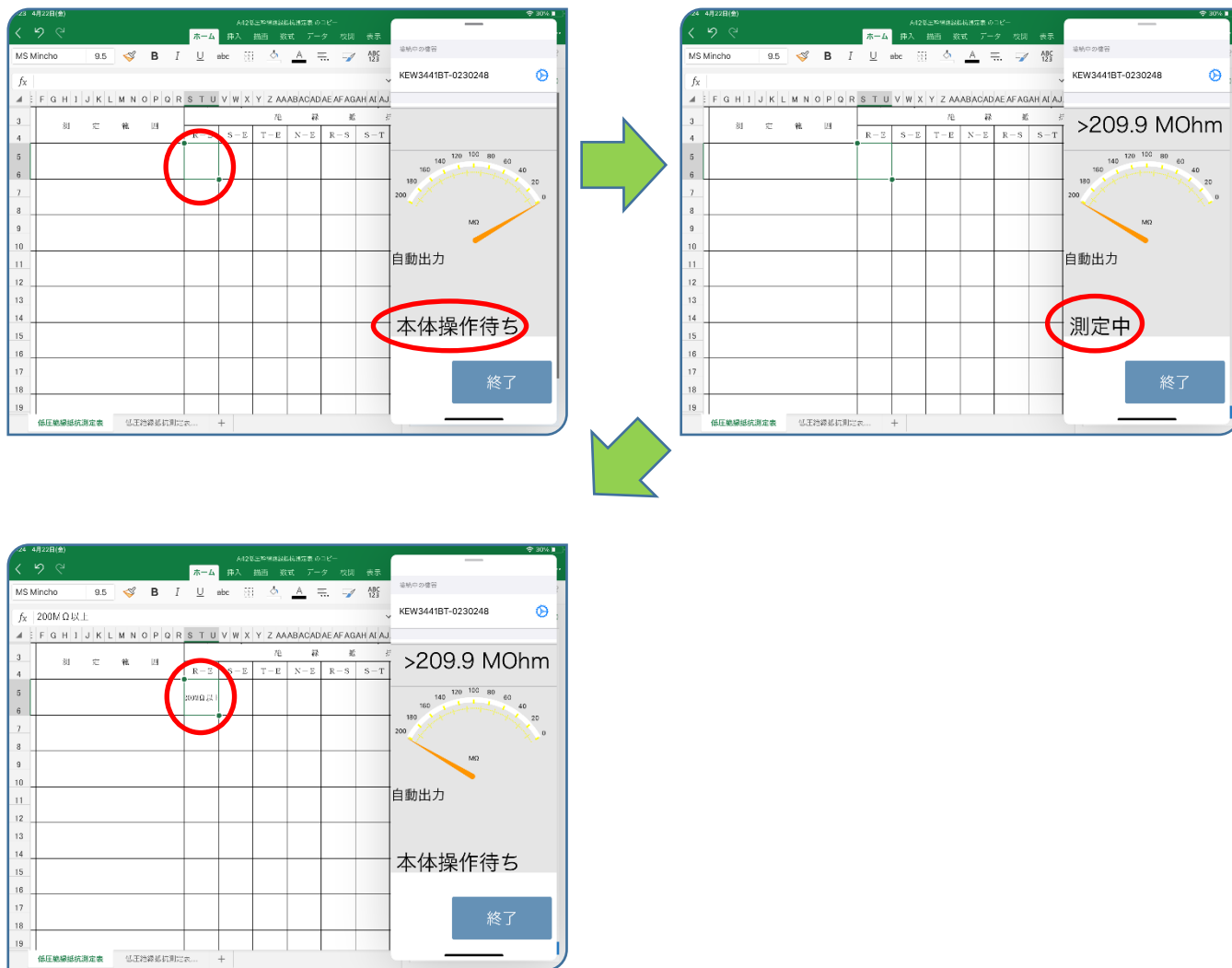
事前に本体操作による入力機能を有効にし、入力したいセルをタップし、測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、選択したセルに測定値が入ります。

設定方法については、P.59「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。



「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BTの場合）

入力したいセルをタップし、測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に選択したセルに測定値が入ります。



注記

- ◇ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。  
詳細については、表2 各測定器の測定値入力方法を参照してください。

表 2 各測定器の測定値入力方法

型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
AF101	○	○	プローブボタン (※2)
AF111	○	○	プローブボタン (※2)
CD-AX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
CM4371/CM4373/ CM4375	○	○	HOLD ボタン (※2)
CM4376	○	○	HOLD ボタン (※2)
DCL31DRBT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DLC470BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DT4261	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT3425	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT6380	○	○	HOLD ボタン (※2)
GA シリーズ	○	-	-
IES-5000	○	-	-
IR4052	○(※3)	○	MEASURE キー
IR4055	○(※3)	○	MEASURE キー
KEW2433RBT	○	○	DH ボタン (※2)
KEW3441BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW3552BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4105DLBT-H	○	○	TEST ボタン (※2)
KEW4300BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4505BT	○(※3)	○	測定ボタン

型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
KEW5204BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
KEW6041BT	○(※3)	○	測定ボタン
M-1140X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
M-1141X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MCL800DX/DXR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MDC-MX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
MET-10X	○	-	-
NL42A/52A/62A	○	○	PAUSE/CONT キー (※2)
PD3259	○	○	HOLD ボタン (※2)
PM300BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
SK-110TRH-B	○	-	-
SK-270WP-B	○	-	-
SSC-650/750/850	○	○	DATA ボタン (※2)
SSCD-150/150S	○	○	→ボタン (※2)
SSD-215	○	○	→ボタン (※2)
SSI550/560/570/580	○	○	→ボタン (※2)
SSL250-260	○	○	→ボタン (※2)
SSM-750/850	○	○	SET ボタン (※2)



型番	セル反映ボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
SSS-540/550	○	○	→ボタン (※2)
TKR12M	○	-	-
TKR12P	○	-	-
6006-BT	○	○	電源/機能スイッチ (※2)

※1 ボタン配置・形状等の詳細については、各測定器のマニュアルを参照してください。

※2 設定することで、測定値を出力できます。

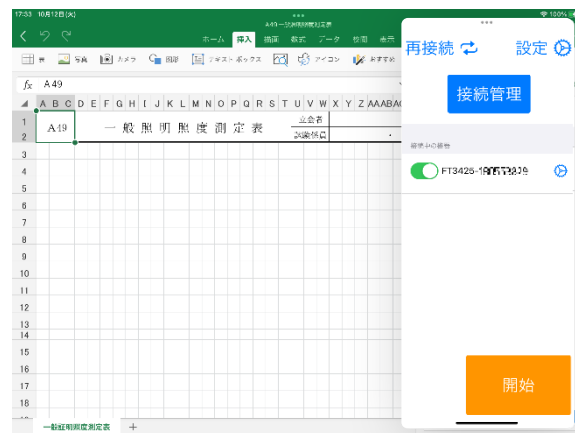
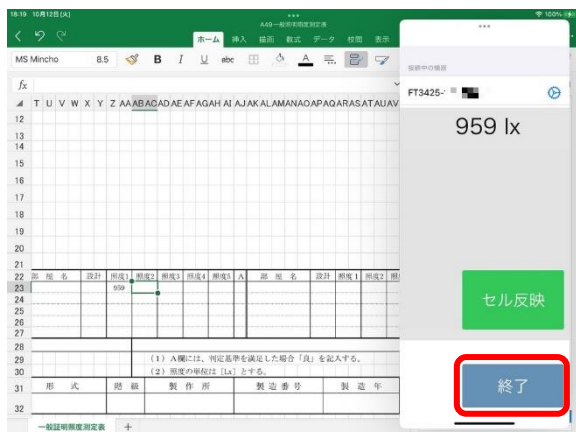
設定方法については、P.59「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。

※3 「手動測定」「測定中出力」時のみ、測定値を入力できます。

設定方法については、P.59「14.1⑥反映方法」を参照してください。

#### ④ 測定値取得の終了

「終了」ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。



## 12.2 測定を行う(PDFEditor)

測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

### ① 測定対象の選択

接続中の機器に表示されているトグルを有効にすると、測定対象になります。

#### 注記

- ◇ 測定対象トグルがどれも有効になっていないと、測定できません。
- ◇ 一度に測定できる測定器は1つまでです。



### ② 測定値取得の開始

BLuEAppの「開始」ボタンをタップすると測定を開始します。



### ③ 測定モードを有効にする

「測定」ボタンをタップすると測定モードになります。

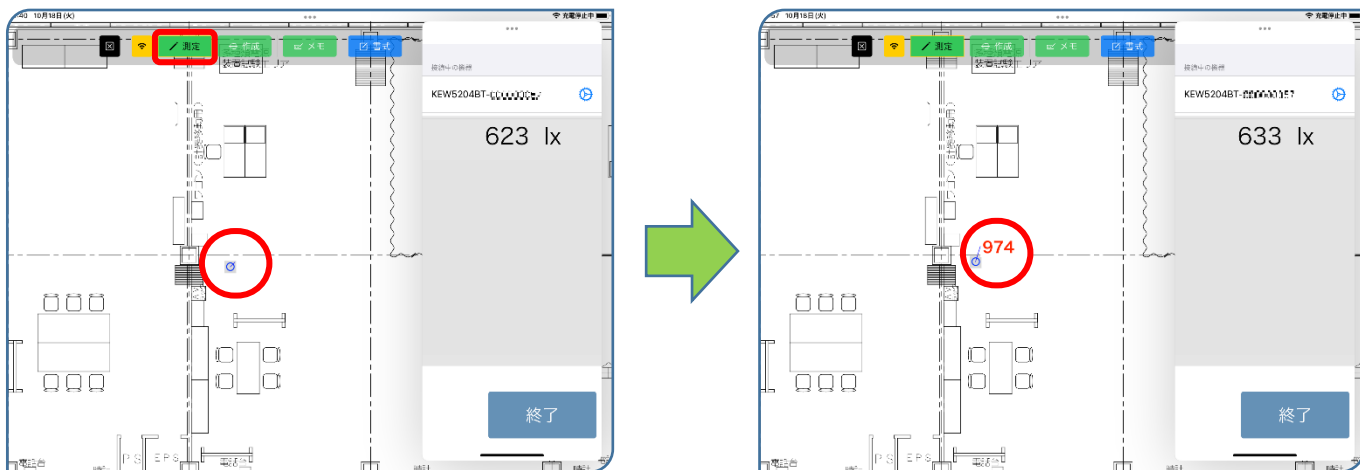
測定モードになると、作成した測定ポイントがハッチングされます。



入力方法は、以下の通りになります。

### 測定ポイントをタップ後、測定値が入力される手順（例：FT3425の場合）

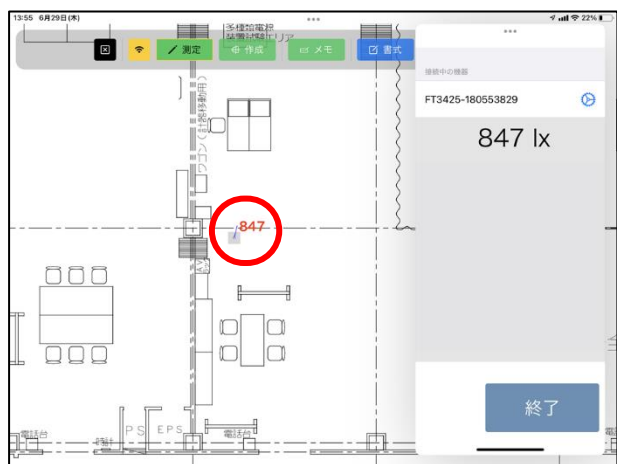
入力したい測定ポイントをタップすると、測定値が入ります。



### 測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425の場合）

事前に本体操作による入力機能を有効にし、入力したい測定ポイントをタップすると、「測定中」のダイアログが表示されます。測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、測定値が入ります。

設定方法については、P.59「14.1⑤測定器本体のボタン押下時出力」を参照してください。



**測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BT の場合）**

入力したい測定ポイントをタップすると、「測定中」のダイアログが表示されます。測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に測定値が入ります。



**注記**

- ◇ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。  
詳細については、P.48「表2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。

#### ④ 測定値取得の終了

「終了」ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。



## 13 終了する

### 13.1 試験記録表・図面を保存する

Excel・PDFEditor では自動保存されるので保存の操作は必要ありません。

### 13.2 BLuEApp を終了する

SlideOver の状態から BLuEApp の下部を上方向にドラッグすると、アプリケーションの選択画面になるので、上方向にスワイプすると、BLuEApp が終了します。Excel・PDFEditor は「ホームボタン」を 2 回押し、上方向にスワイプすると終了します。



## 14 その他

### 14.1 BLuEApp の設定

各種の設定ができます。

#### ① 接続時自動遷移

##### (ア) 有効の場合

接続管理画面で BLuEApp と測定器を接続すると、メイン画面へ自動遷移します。

##### (イ) 無効の場合

接続管理画面で BLuEApp と測定器を接続しても、メイン画面へ自動遷移しません。BLuEApp 画面上部の戻るをタップして、メイン画面へ遷移してください。

#### ② 起動時再接続

##### (ア) 有効の場合

BLuEApp 起動後タイトル画面の BLuE のロゴをタップすると、自動で再接続対象に設定した測定器と接続します。

##### (イ) 無効の場合

BLuEApp 起動後タイトル画面の BLuE のロゴをタップしても、自動で再接続対象に設定した測定器と接続しません。

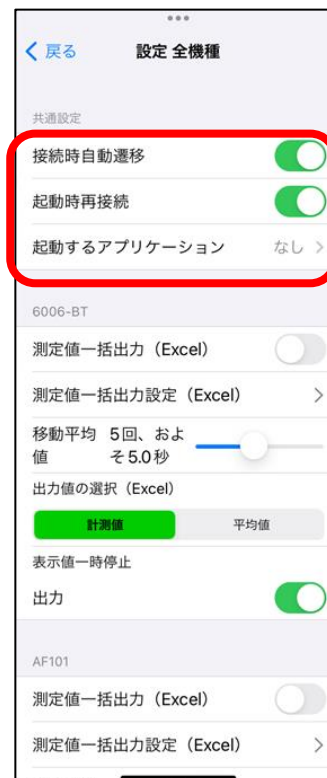
#### ③ 起動するアプリケーション

入力先アプリケーションをボタン操作 1 つで起動できます。

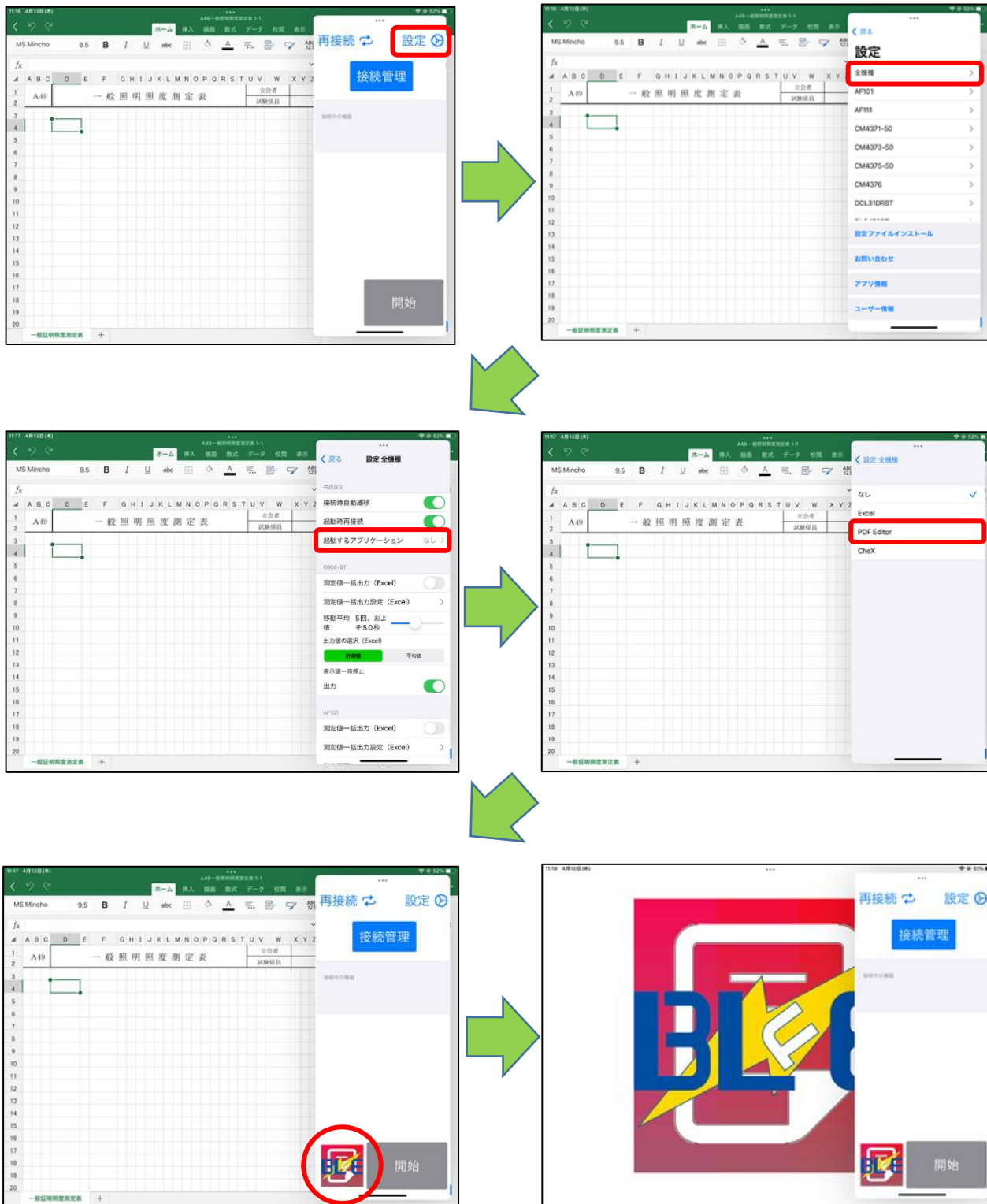
対象のアプリケーションは以下の通りです。

- ◆ Microsoft Excel®
- ◆ BLuE PDF Editor
- ◆ Chex®

初期設定では「なし」の設定になっています。



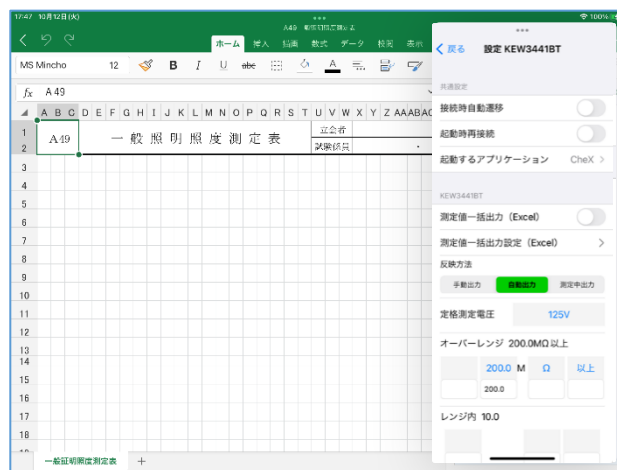
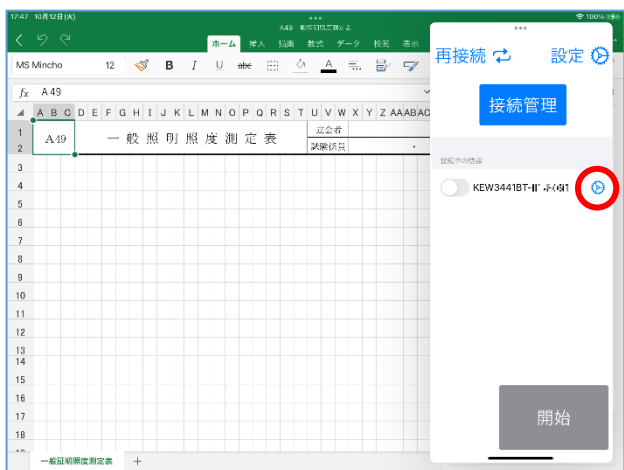
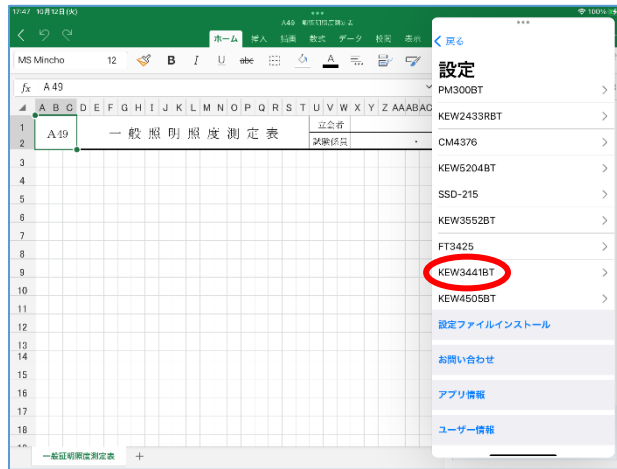
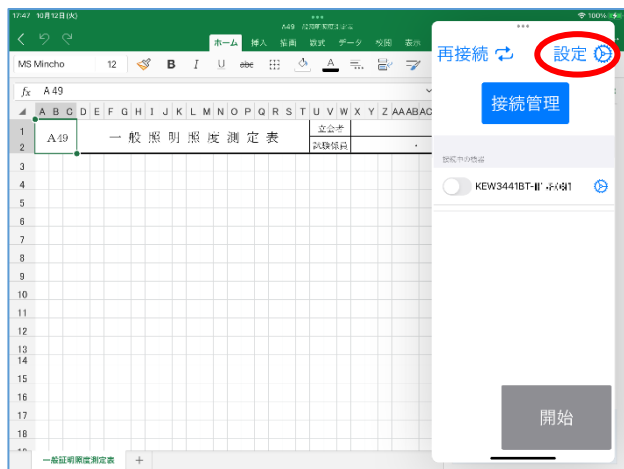
BLuEApp から他入力先アプリケーションを起動することができます。起動するためには該当の入力先アプリケーションがすでにインストールされている必要があります。該当の入力先アプリケーションがインストールされていない場合、ボタンは表示されますが起動はできません。



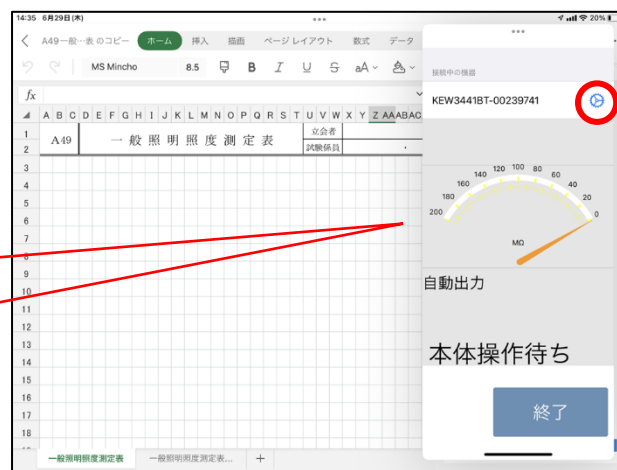


#### ④ 測定器個別の設定

設定ボタンを押すと、各測定器ごとに各種設定ができます。



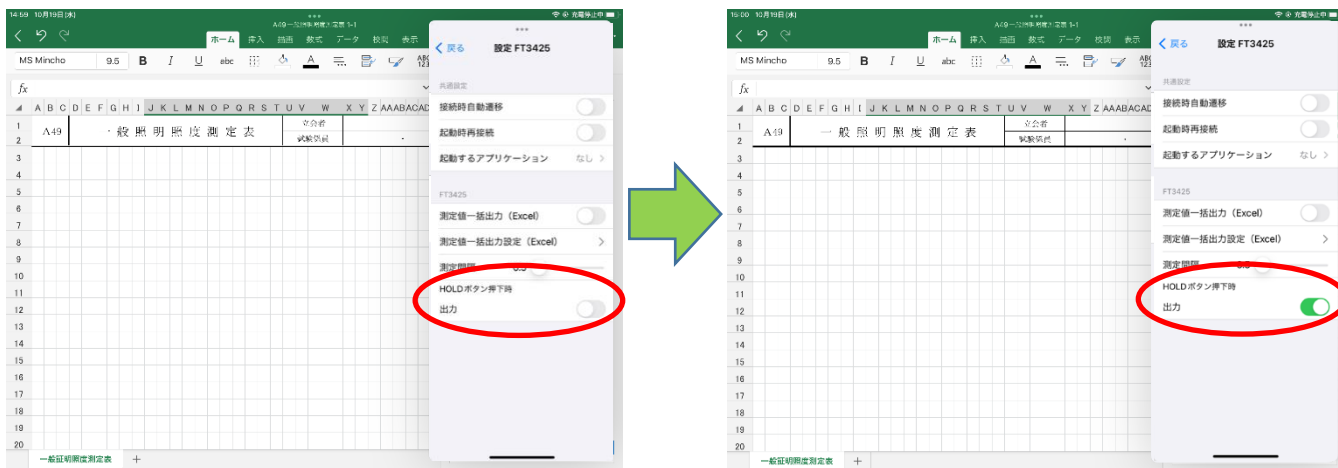
各測定器共通で、  
測定中の画面からも設定画面へ遷移できます。



以下の項目については、各測定器個別の設定となります。

### ⑤ 測定器本体のボタン押下時出力

ボタン押下時出力のトグルを有効にすることにより、各測定器本体のボタンを押して測定値を入力することができます。各測定器本体のボタンについては、P48「表 2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。



### ⑥ 反映方法

確定した測定値を出力する方法を選択できます。

#### (ア) 手動出力

測定値が確定したときに測定値の出力ボタンが表示され、ボタンを押すと測定値が入ります。

#### (イ) 自動出力

測定値が確定したときに測定値が自動で入ります。BLuEApp に測定値の出力ボタンは表示されません。

#### (ウ) 測定中出力

測定値が確定していない、または測定中の時に出力ボタンを押すと、測定値が入ります。

## ⑦ レンジ設定

入力先アプリケーションに表示する際の閾値、単位、書式が設定できます。

### (ア) 定格測定電圧

各種測定器で使用可能な定格測定電圧ごとにレンジ設定ができます。

- 電圧測定レンジ
- 低抵抗測定レンジ
- 50V
- 100V
- 125V
- 250V
- 500V
- 1000V

### (イ) レンジ選択

- オーバーレンジ

測定値が設定された上限値を超えた場合の出力形式を設定できます。

◆任意の数値を入力したい場合

赤枠欄に任意の数値を入力してください(例として、“20”を入力)。

ただし入力しただけでは反映されないなので、入力後、青枠欄をタップし、

先ほど入力した値をプルダウンから選択し、設定してください。

そのほか、「Ω」をタップすると「Ohm、Ω、なし」に、

「以上」をタップすると「以上、or more、and over、なし」にそれぞれ変更できます。



- レンジ内

測定値が設定された上限値にも下限値にも達していない場合の出力形式を設定できます。

※手順については、オーバーレンジと同様。

- アンダーレンジ

測定値が設定された下限値を下回った場合の出力形式を設定できます。

※低抵抗測定、絶縁抵抗測定の場合、下限値は0に設定されているため、0未満の測定値が発生しない測定器については適用されません。

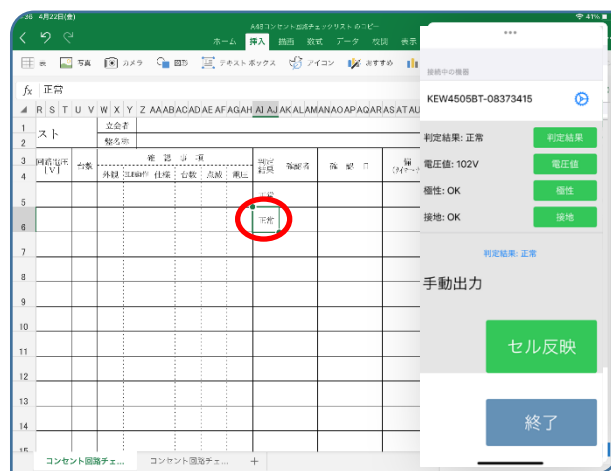
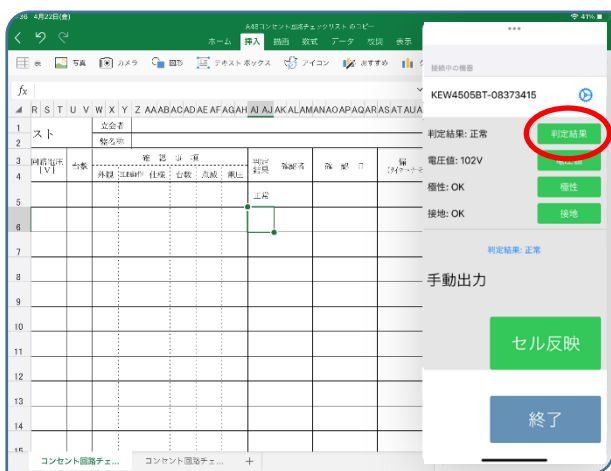
※手順については、オーバーレンジと同様。

### ⑧ 出力方法の選択（測定値が複数ある測定器かつ Excel のみで有効）

確定した測定値を BLuEApp に表示する方法を選択できます。

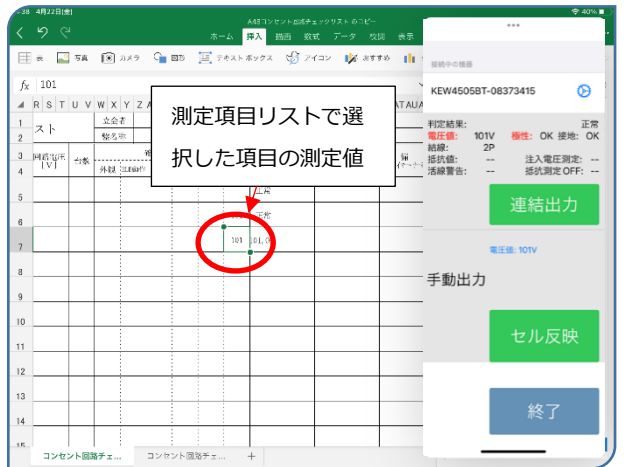
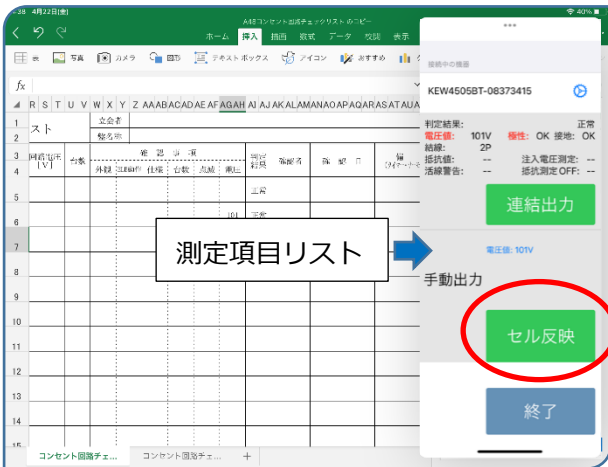
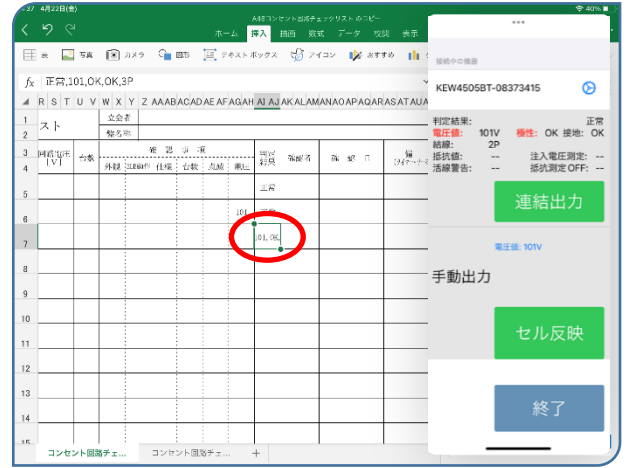
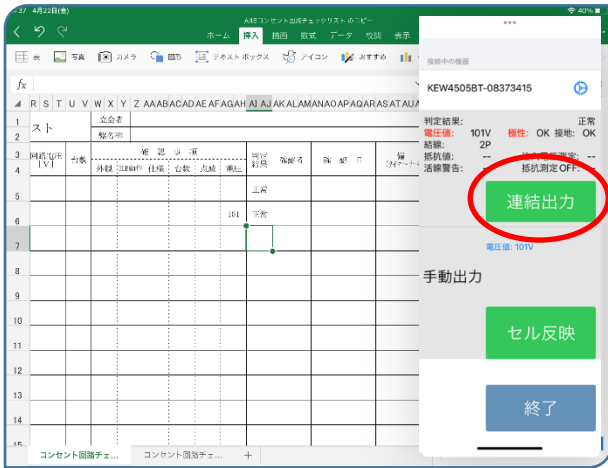
#### (ア) 選択出力

測定値が確定すると、設定画面で選択した項目の測定値と出力ボタン、セル反映ボタンが表示します。各項目の出力ボタンをタップすると、タップした項目の測定値がセルに入ります。セル反映ボタンをタップすると、測定項目リストで選択した項目の測定値がセルに入ります。



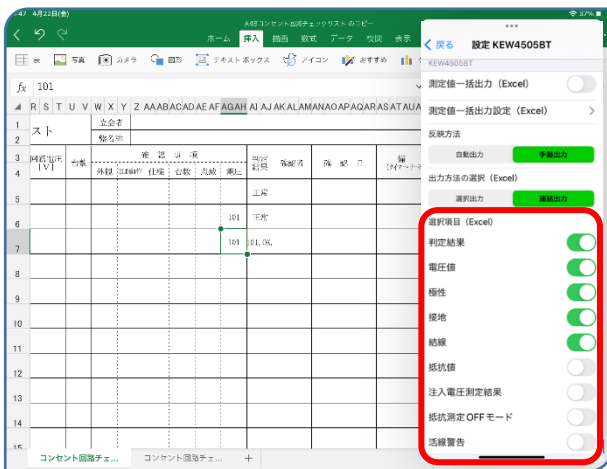
### (イ) 連結出力

測定値が確定すると、測定値と連結出力ボタン、セル反映ボタンが表示します。設定画面で選択した項目は赤字で表示します。連結出力ボタンをタップすると、選択した項目がカンマ区切りで連結され、セルに測定値が入ります。セル反映ボタンをタップすると、測定項目リストで選択した項目の測定値がセルに入ります。



### ⑨ 選択項目 (Excel のみで有効)

BLuEApp に表示する測定値の項目を選択できます。



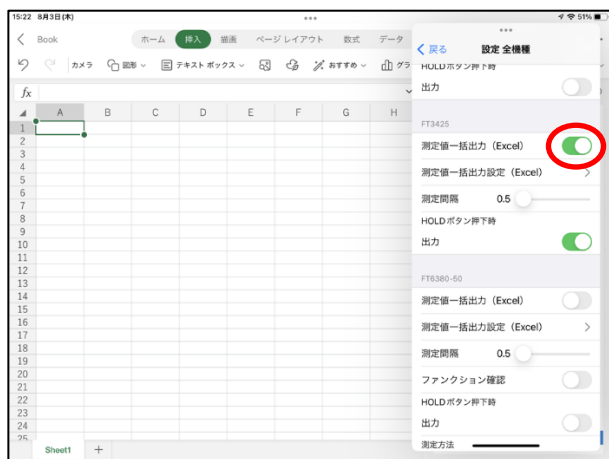
### ⑩ 測定値一括出力（Excelのみで有効）

測定値一括出力を有効にすることで、「日付・時刻・測定値・単位」などを、任意のセルに分割して入力することができます。

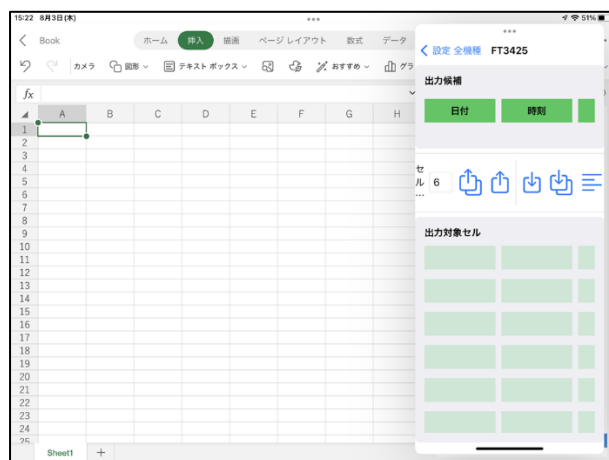
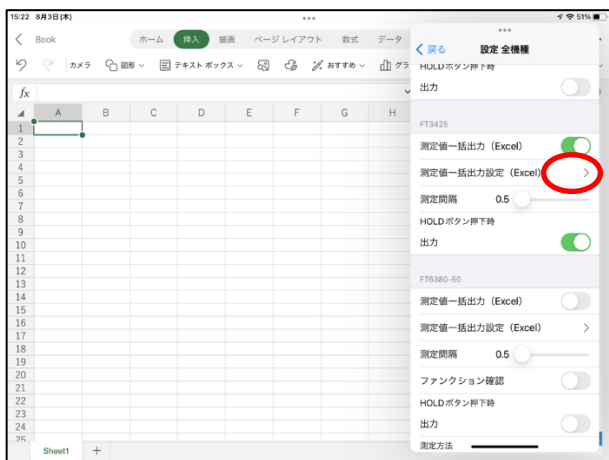
#### 注記

◇ 使用する測定器ごとに、それぞれ設定してください。

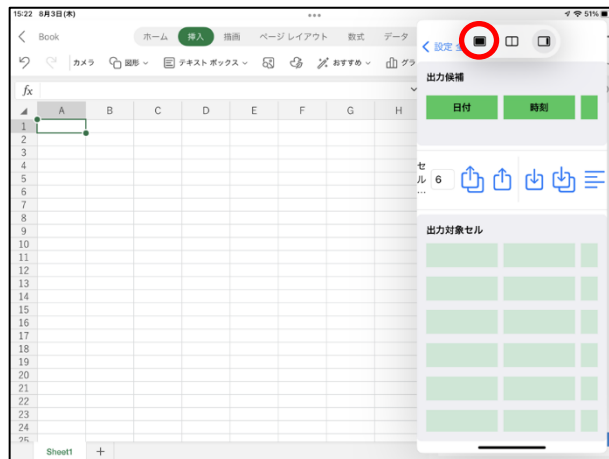
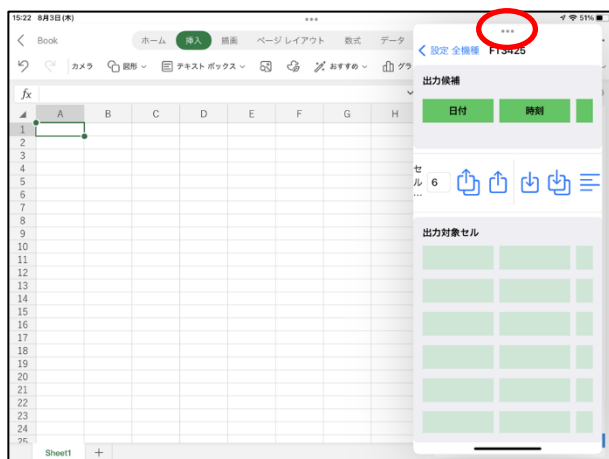
測定値一括出力を有効にします。



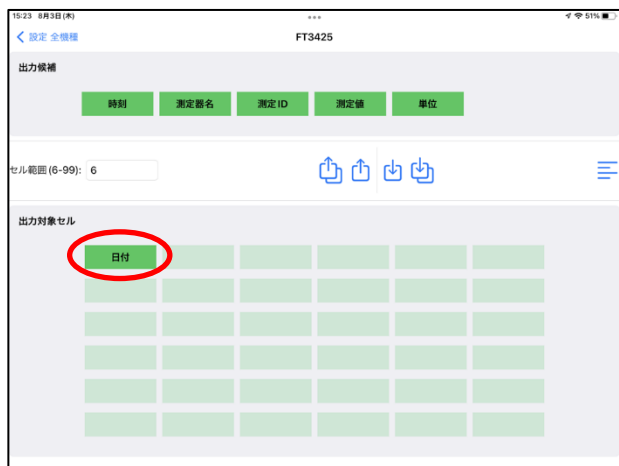
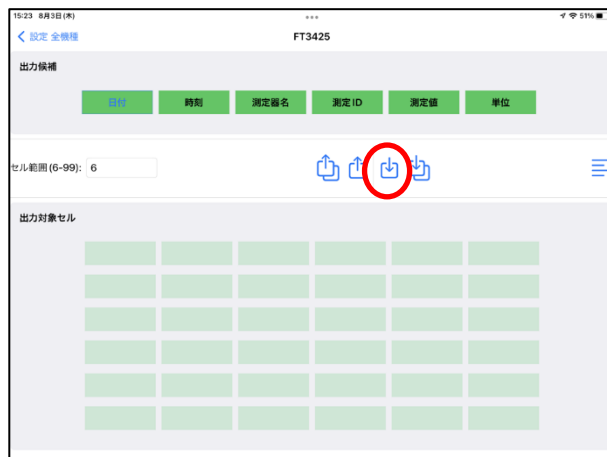
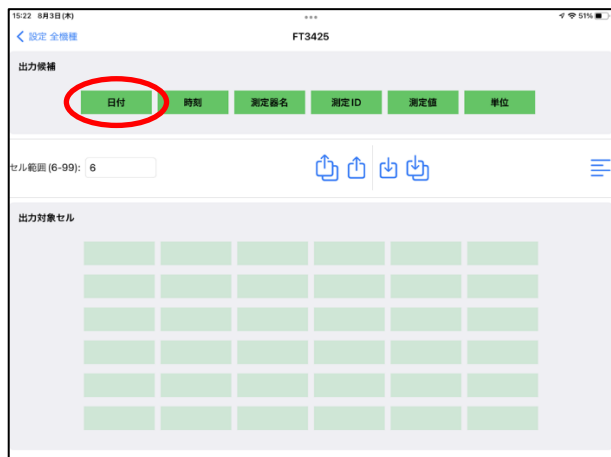
測定値一括出力設定を押します。



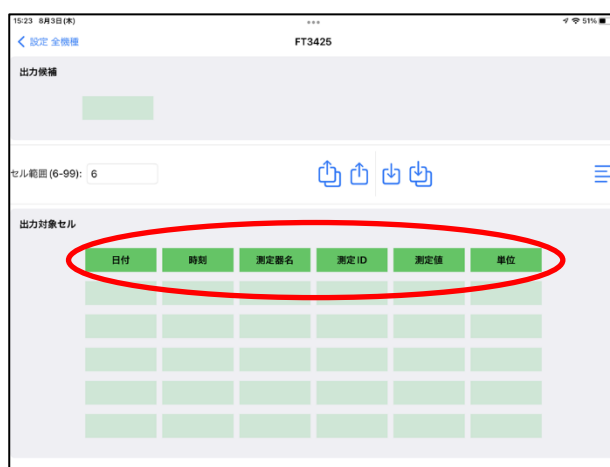
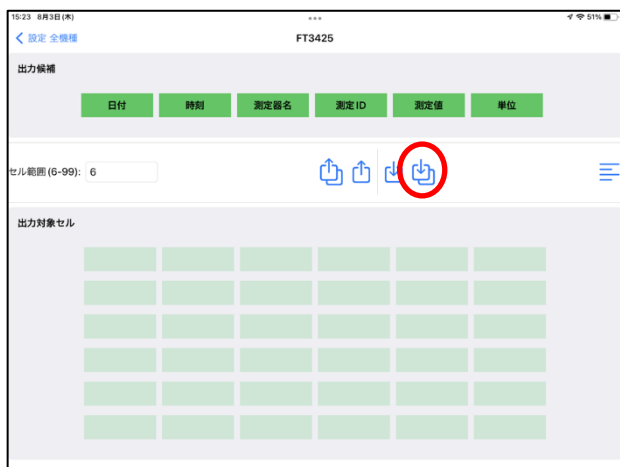
全画面表示する場合は、赤丸箇所をタップします。



設定する項目をタップして、移動します。

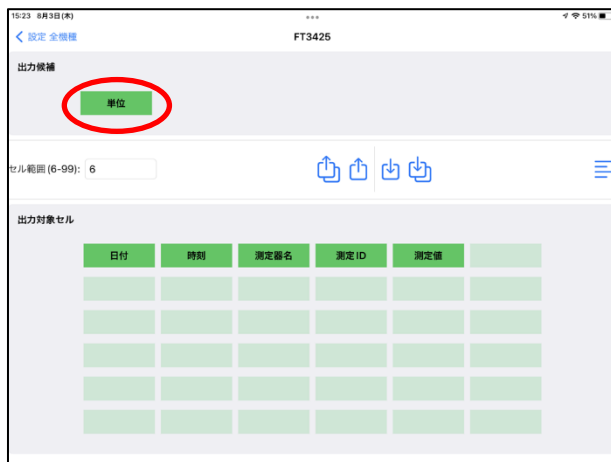
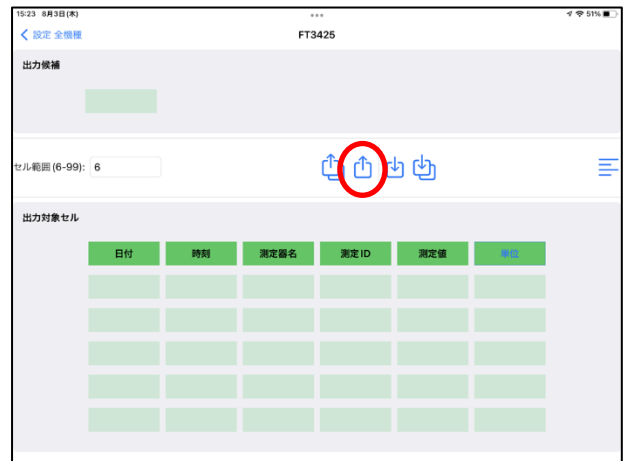
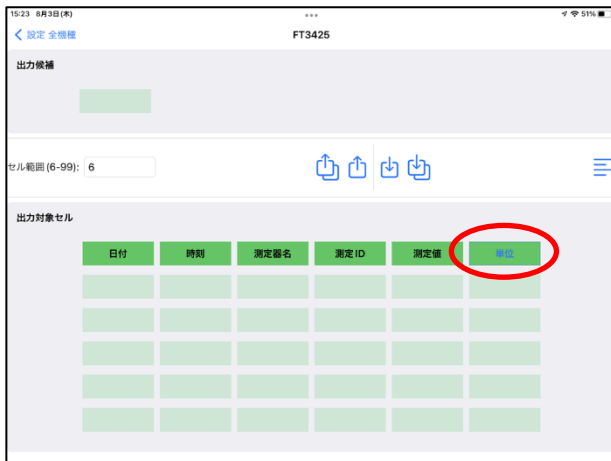


また、全項目一括で移動することもできます。

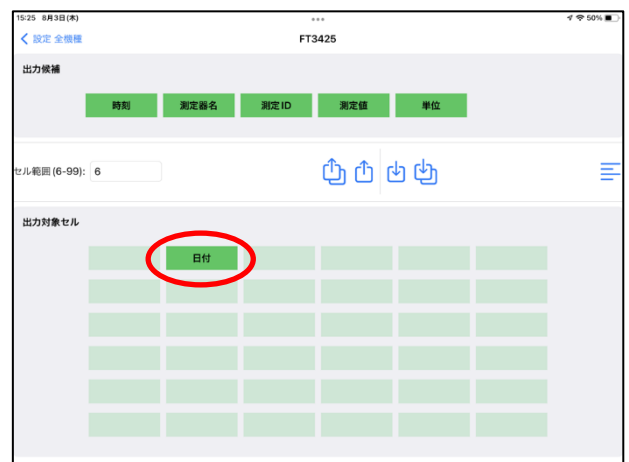
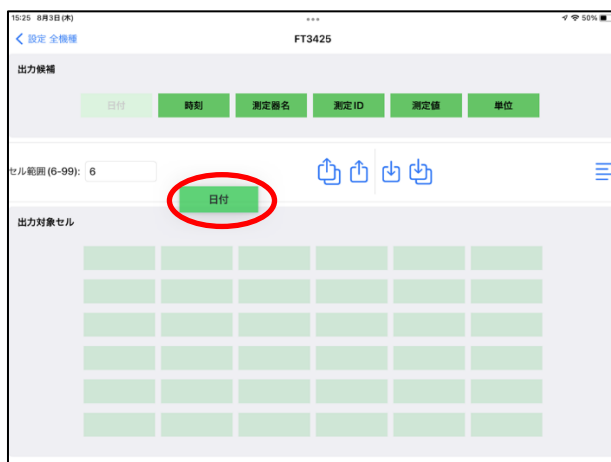




不要な項目を戻すことができます。

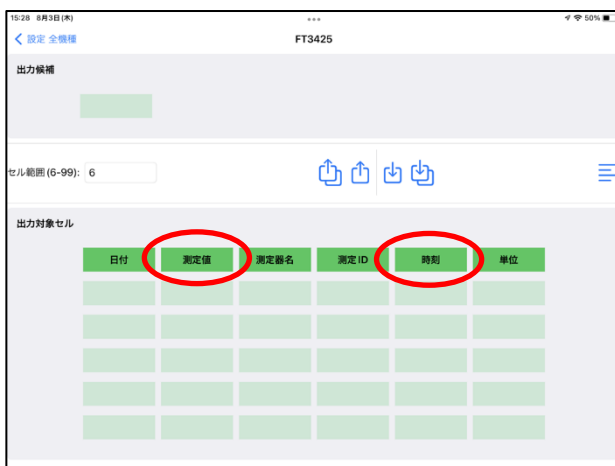
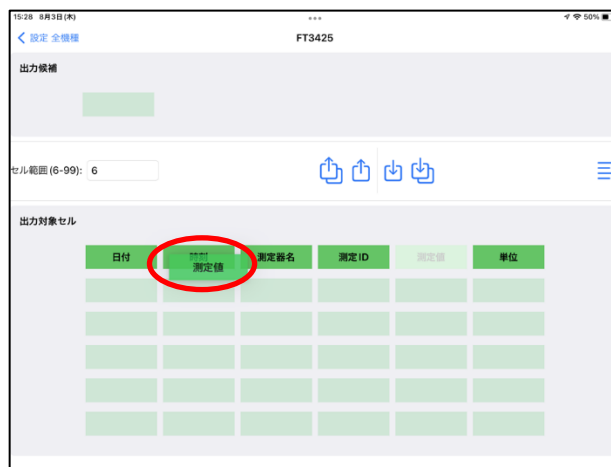
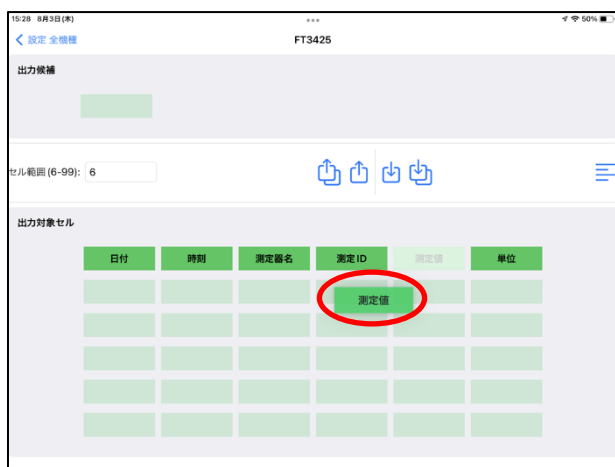


項目を長押しし、ドラッグすることで、任意の箇所に移動することができます。

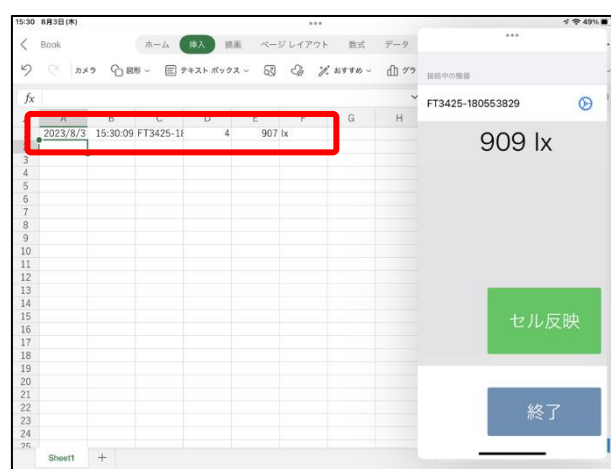
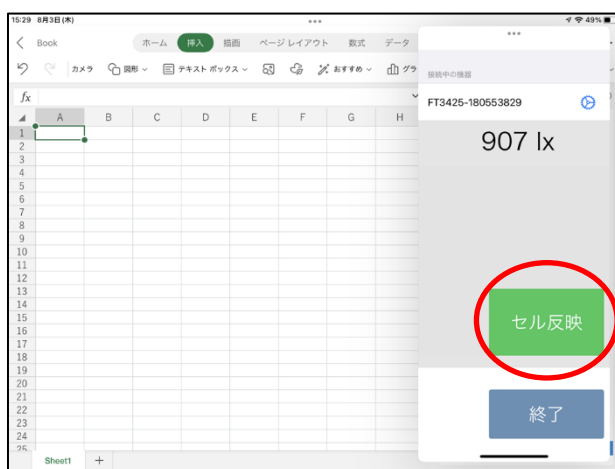


項目を入れ替えることができます。

入れ替えたい項目を長押しし、移動したいセル上で指を離すと、配置が入れ替わります。



測定画面に戻り、「セル反映」ボタンを押すと、設定した項目が各セルに分割して入力されます。



## 14.2 Excel の設定

### 測定値の入力後にセルを移動する

Office アドインで測定値入力後のセル移動を設定できます。設定を行うと測定値の入力後にカーソルが自動的に指定した方向に移動します。(なし/右/下)



## 14.3 PDF Editor の設定

各種設定ができます。

### ① 測定時タイムアウト有効・無効

#### (ア) 有効の場合

一定時間内に BLuEApp から測定値が出力されない場合、測定を中止します。

#### (イ) 無効の場合

一定時間内に BLuEApp から測定値が出力されない場合であっても、測定を中止しません。

### ② 測定時タイムアウト時間

測定時タイムアウトが有効の場合に測定を中止するまでの時間を設定します。3.0 秒から 20.0 秒の間で、0.5 秒刻みで設定できます。

### ③ CSV ファイル結合出力

#### (ア) 有効の場合

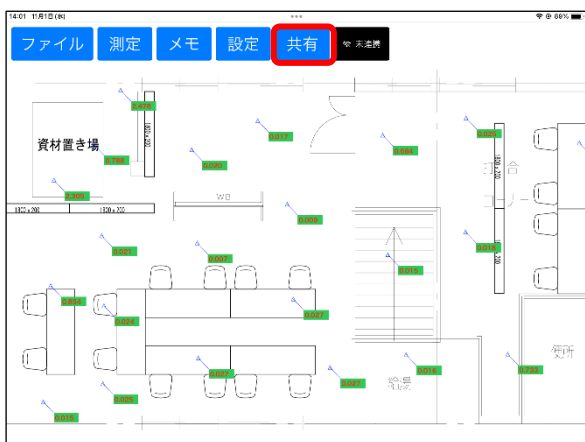
測定ポイント情報を 1 つのファイルに結合して、出力します。

#### (イ) 無効の場合

測定ポイント情報を各測定器ごとにファイル作成し、出力します。

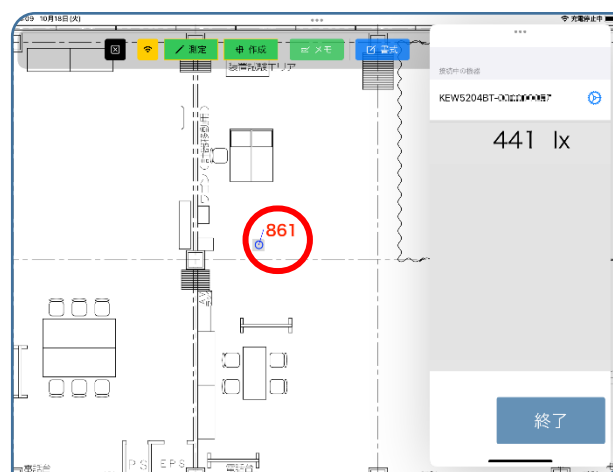
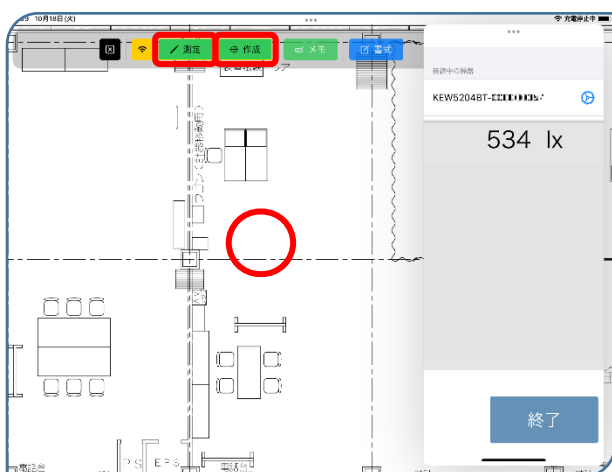


CSV ファイル結合出力を行うには、メインメニュー「共有」をタップ、「共有シート」が表示されるので、出力先として「ファイルに保存」を選択します。



#### ④ 測定+測定ポイントの作成

「測定」ボタンと「作成」ボタン両方を有効にした状態で、PDF 図面の任意の箇所をタップすると、測定ポイントの作成と同時に測定値が入ります。

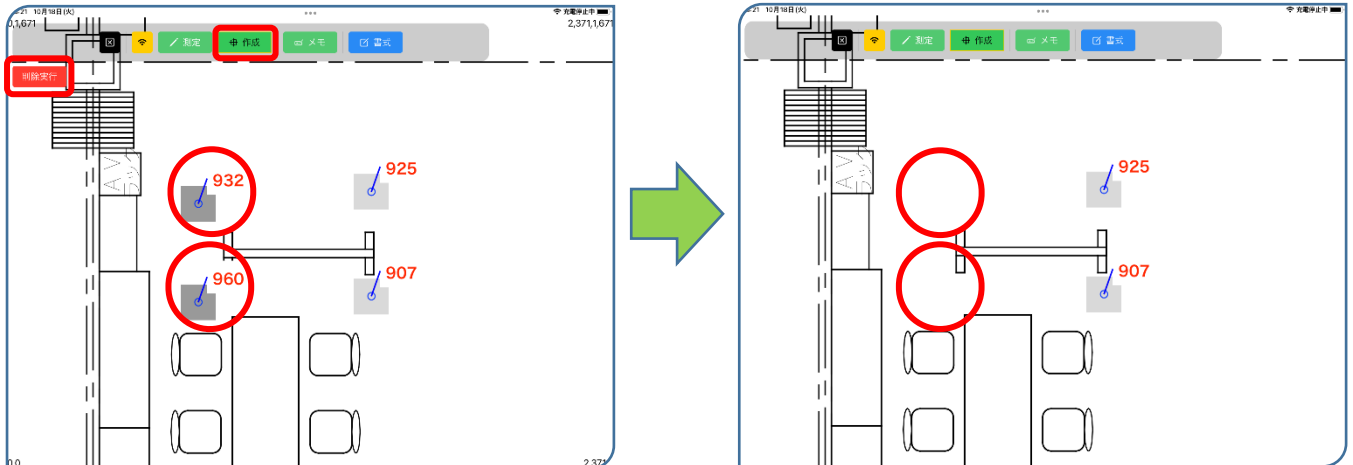


#### 注記

◇ 測定手順については、P.51「12.2 測定を行う(PDFEditor)」を参照してください。

### ⑤ 測定ポイントを削除する

「作成」ボタンをタップし、測定ポイントを選択すると「削除実行」ボタンが表示されます。測定ポイントは同時に複数選択できます。「削除実行」ボタンを押すと、測定値が入力されていても測定ポイントが削除されます。



## ⑥ 測定ポイントを移動する

「作成」ボタンをタップし、移動したい測定ポイントをタップすると、測定ポイントの移動ができます。測定ポイントは複数選択できます。四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

### 注記

- ◇ 下方に表示されているx座標・y座標に任意の数値を入力し、「移動」ボタンをタップすると、指定した座標に移動します。
- ◇ PDF図面外への移動や、他の測定ポイントと半分以上重なるような位置に移動することはできません。



## ⑦ 測定値を移動する

「作成」ボタンをタップし、移動したい測定値をタップすると、測定値の移動ができます。測定ポイントは複数選択できます。四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

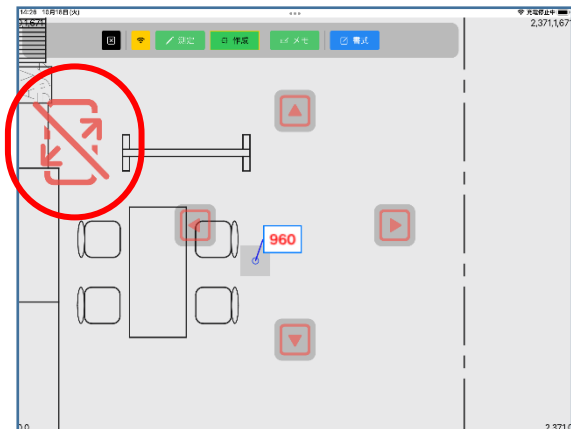
### 注記

- ◇ 測定値を選択した状態でドラッグすると、測定値が移動します。
- ◇ 測定値の移動をしても、測定ポイントの位置は変わりません。





測定値の移動モードになると、左上に拡大縮小禁止マークが表示され、PDF 図面の拡大縮小・移動ができない状態になります。



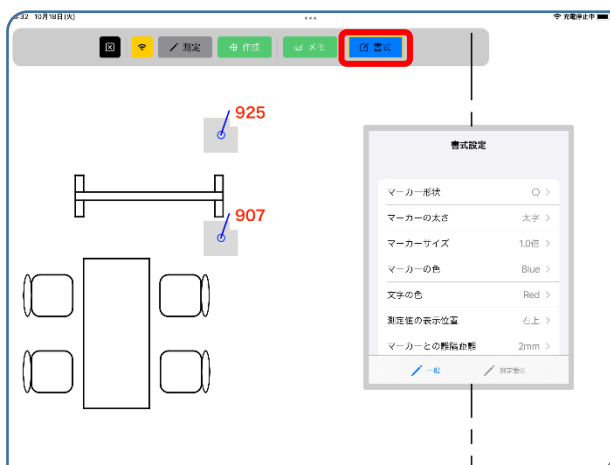
### ⑧ 測定ポイントの書式を設定する

「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになります。

#### 注記

測定ポイントを選択しない状態で書式の変更を行うと、以降に作成する測定ポイントに反映されます。

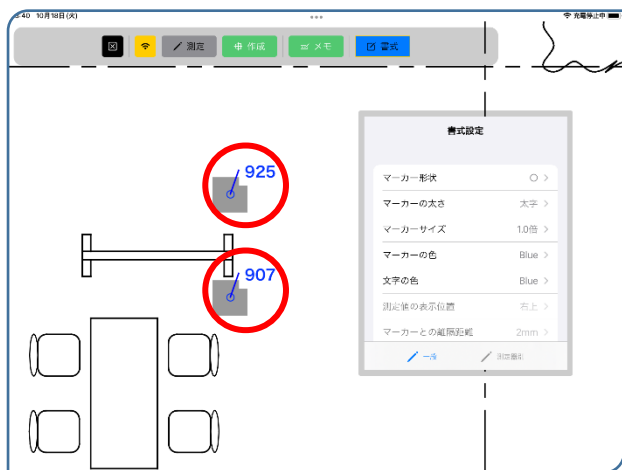
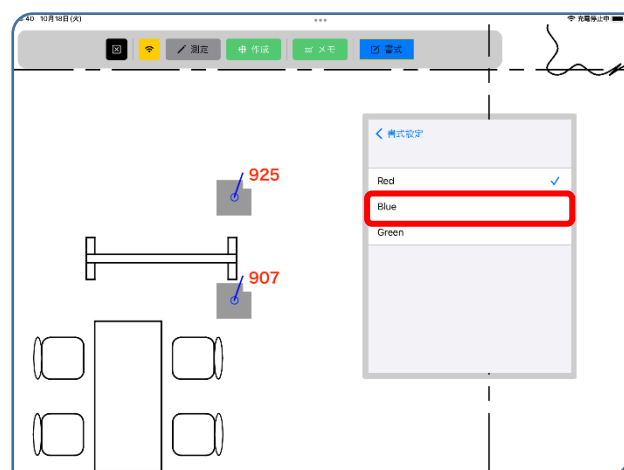
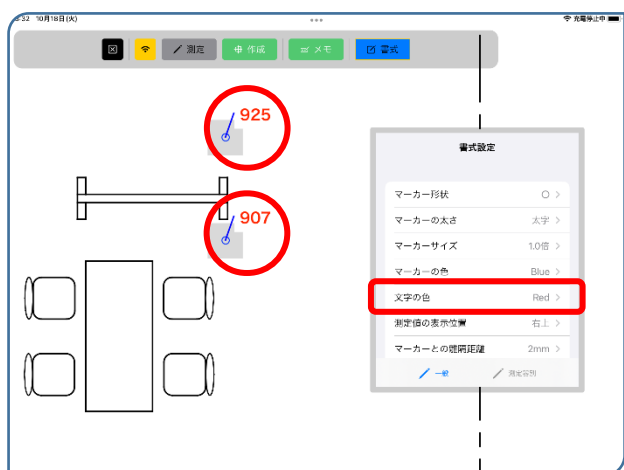
名称	役割
マーカー形状	マーカーの形状を変更可能。
マーカーの太さ	マーカーの太さを変更可能。
マーカーサイズ	マーカーのサイズを変更可能。
マーカーの色	マーカーの色を変更可能。
文字の色	表示されている測定値の文字色を変更可能。
測定値の表示位置	表示されている測定値の位置を八方に変更可能。
マーカーとの離隔距離	測定ポイントと測定値の距離を変更可能。
文字フォントサイズ	表示されている測定値の文字サイズを変更可能。
引き出し線表示	測定ポイントと測定値の間に引き出し線を表示可能。
測定値背景色	表示されている測定値の背景色を変更可能。



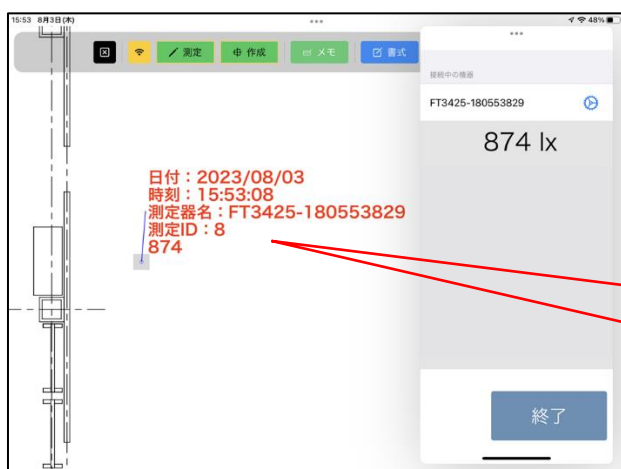
変更したい測定ポイントをタップすると、現在設定されている書式が表示されます。  
 任意の書式変更を行うと、変更内容が反映されます。

**注記**

- ◇ 同時に複数の測定ポイントを選択ができます。この場合、最後に選択した測定ポイントの書式が表示されます。
- ◇ 既に作成された測定ポイントの「測定値の表示位置」「マーカーとの離隔距離」を変更することはできません。



測定器ごとに、表示する内容を変更することができます。



日付・時刻・測定 ID・測定値・単位など表示内容を設定、変更することができます。

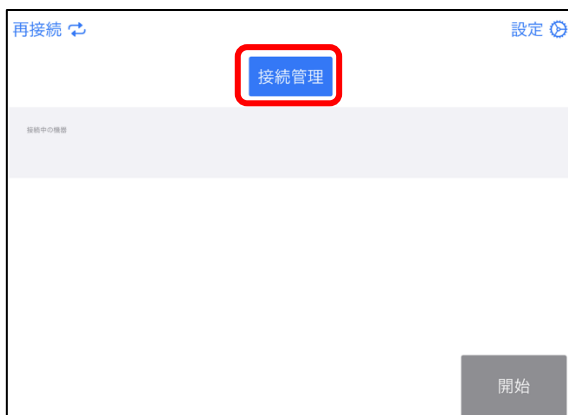
注記

✧ 測定 ID は、測定ポイントに対して、測定することで、自動で番号振り分けされます。  
以降、連番で振り分けられます。

番号を初期化したい場合は、以下の手順で初期化してください。

初期化すると、番号は「1」からとなります。

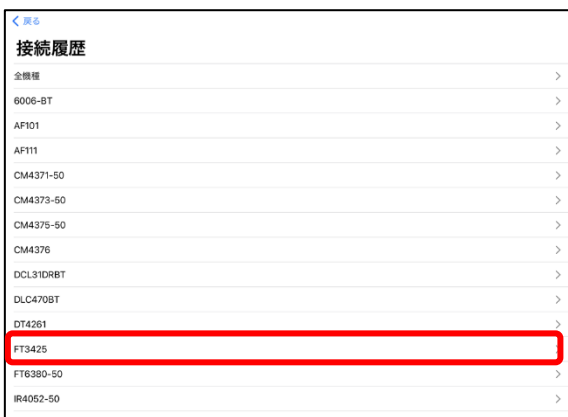
「接続管理」を押します。



「接続履歴」を押します。



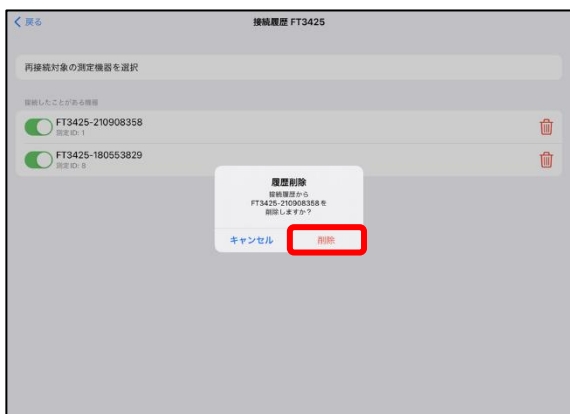
接続履歴を削除したい測定器を選択します。



削除する測定器の右端にある  
「ゴミ箱マーク」を押します。



「削除」を押します。

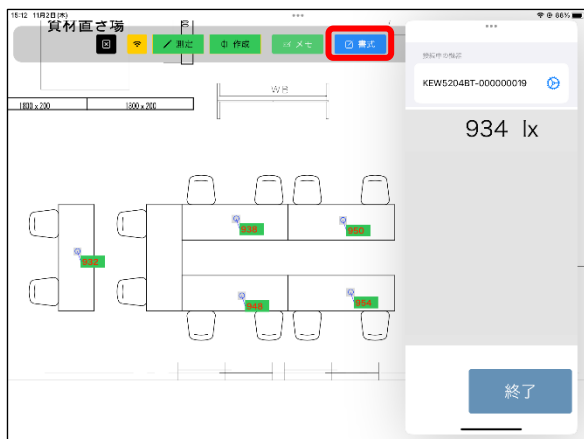


これで初期化完了です。

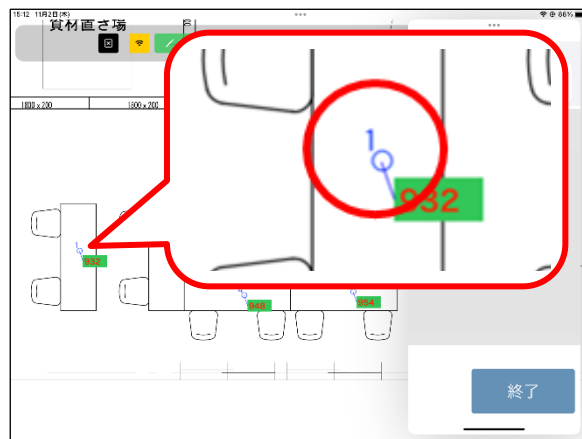


### ⑨ ポイントインデックスの表示

「書式」ボタンをタップすると、書式設定モードになり「ポイントインデックス表示トグル」が表示されます。



トグルを「有効」にすると、測定ポイントの左上に「ポイントインデックス (番号)」が表示されます。

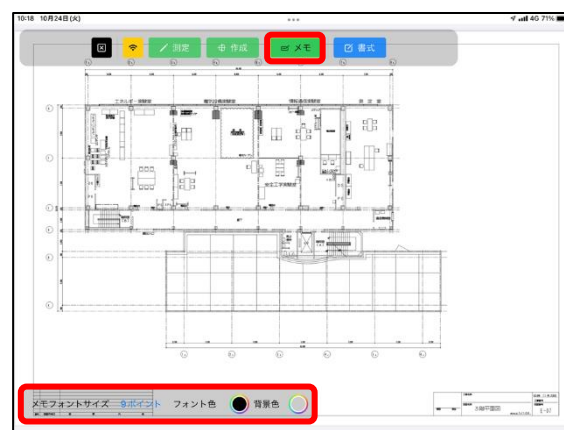
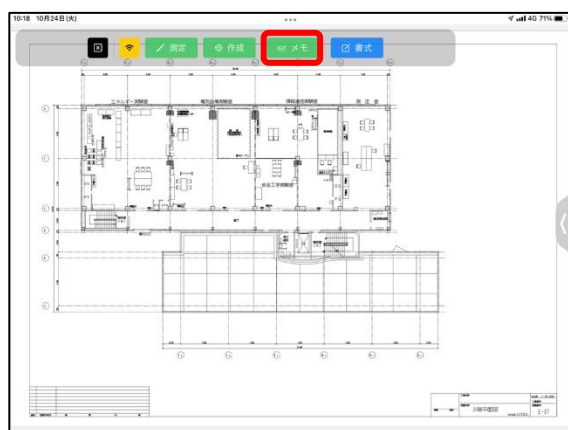
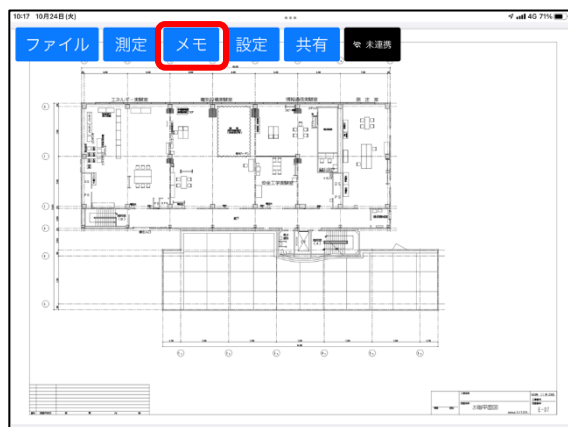


※ポイントインデックス：ページ内で作成された測定ポイントに割り振られる番号

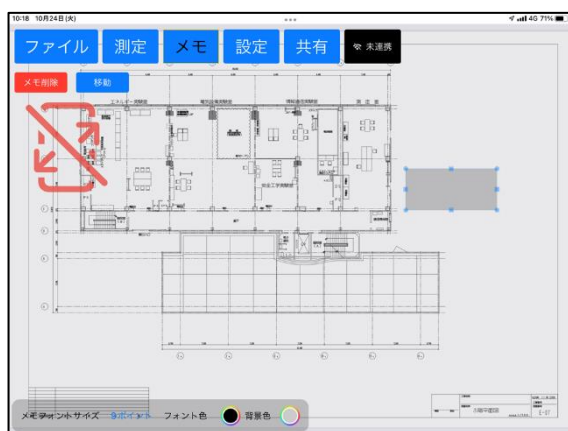
※測定ポイントの書式（マーカーの太さ、サイズ、色）を変更すると、ポイントインデックスの書式も同時に変更されます

## ⑩ メモの選択モード

メインメニューの「メモ」、または測定メニューの「メモ」をタップすると、メモ選択モードになり、メモの作成/削除/移動、メモの書式設定ができます。

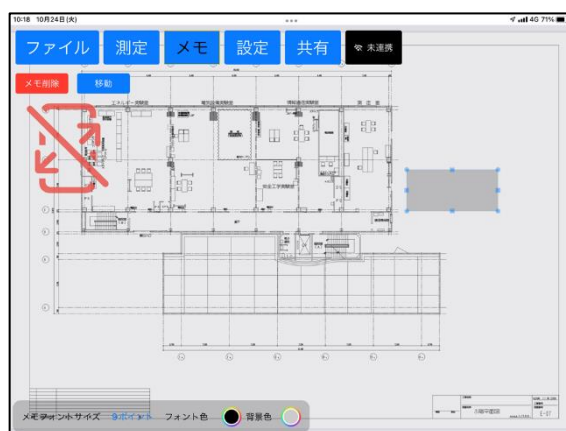
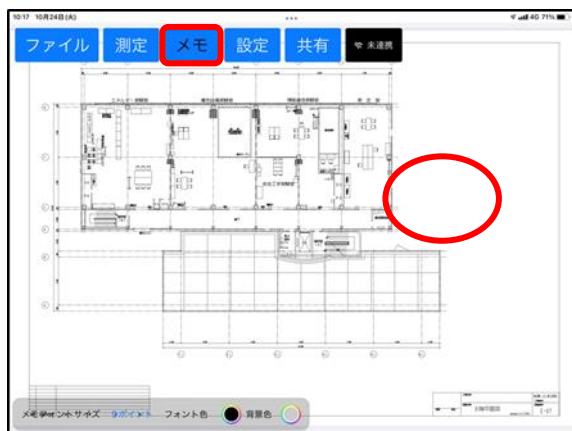


メモ選択モードでメモを選択した状態になると、左上に拡大縮小禁止マークが表示され、PDF 図面の拡大縮小・移動ができない状態になります。



## ⑪ メモの作成

メモ選択モードで PDF 図面上の任意の箇所をタップすると、メモが作成できます。

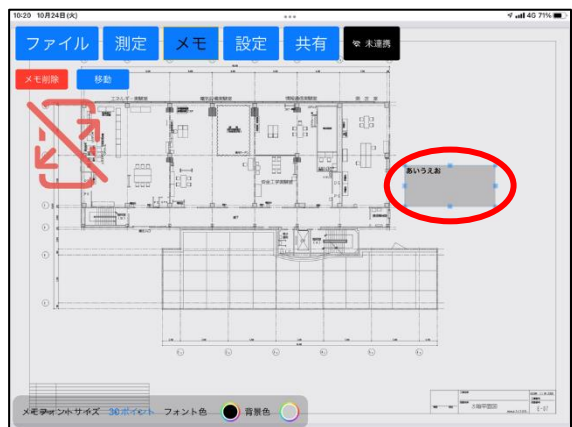
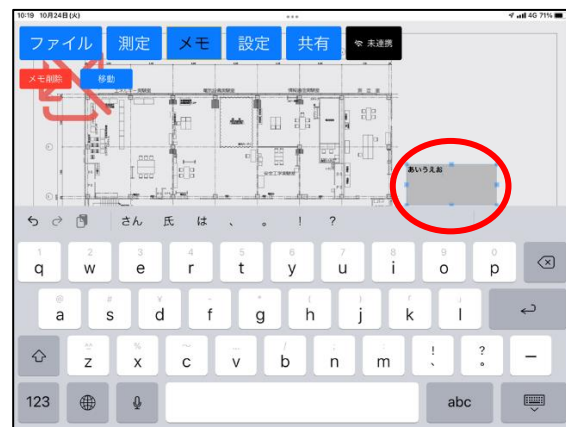
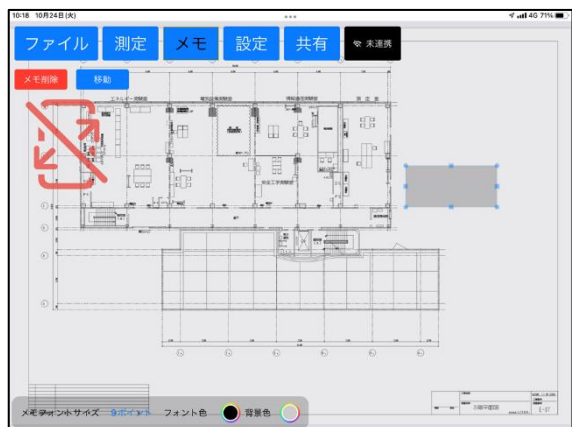


## ⑫ メモの編集

メモを選択した状態でメモの中央をタップすると、メモの内容を編集できます。

注記

◇ メモを複数選択してのメモ編集はできません。



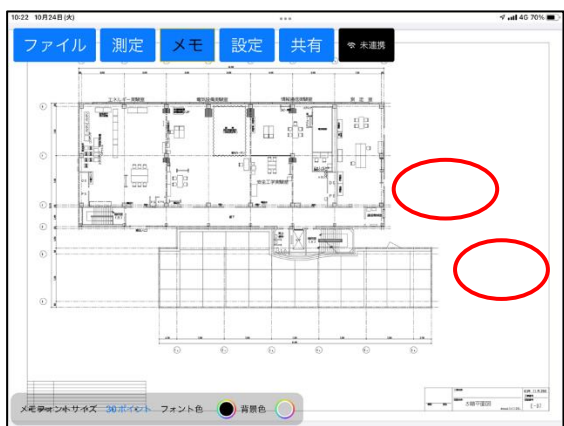
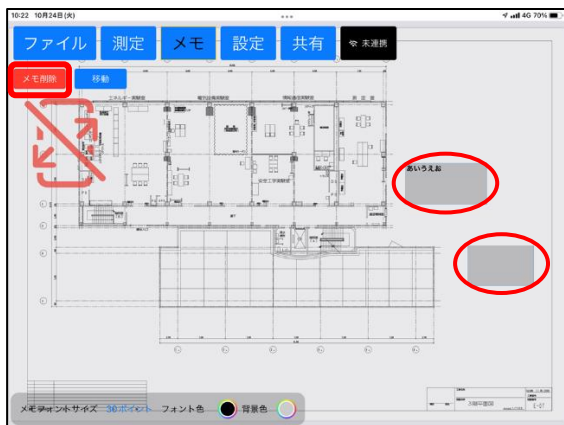
### ⑬ メモの削除

メモ選択モードでメモを選択すると、画面左上に「メモ削除」ボタンが表示されます。

「メモ削除」ボタンを押すと警告が表示され、「OK」ボタンを押すとメモが削除されます。

#### 注記

◇ メモは同時に複数選択できます。



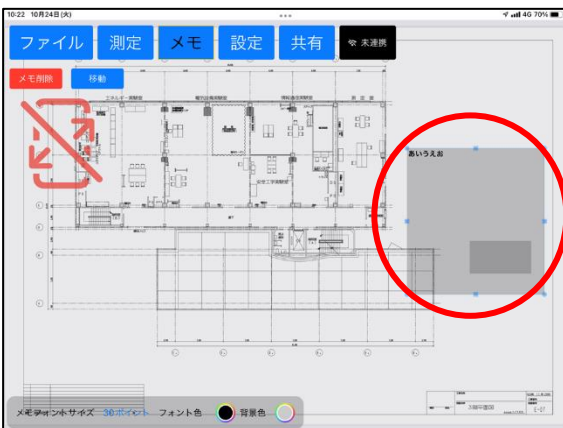
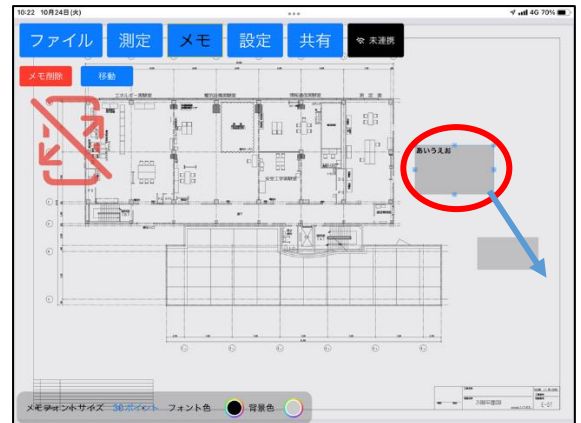
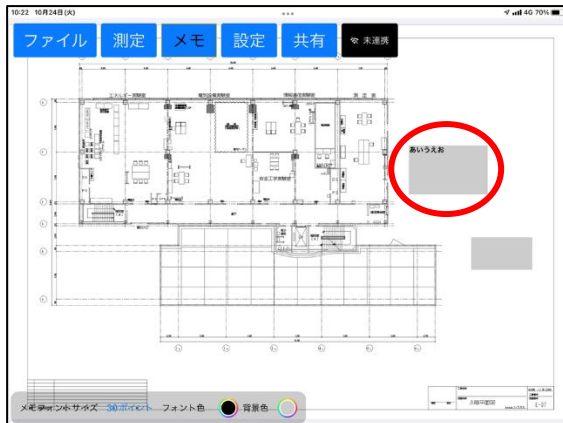


#### ⑭ メモのサイズ変更

メモ選択モードでメモを選択すると、メモの八方向にツマミが表示されます。八方向に配置されたツマミをドラッグすると、メモのサイズを変更できます。

#### 注記

◇ メモを複数選択してのサイズ変更はできません。



## ⑮ メモの書式設定

メモ選択モードで左下に表示されるメモ書式メニューを選択すると、メモの各種設定ができます。

### 注記

◇ メモを選択しない状態で書式変更を行うと、以降に作成するメモの書式に反映されます。

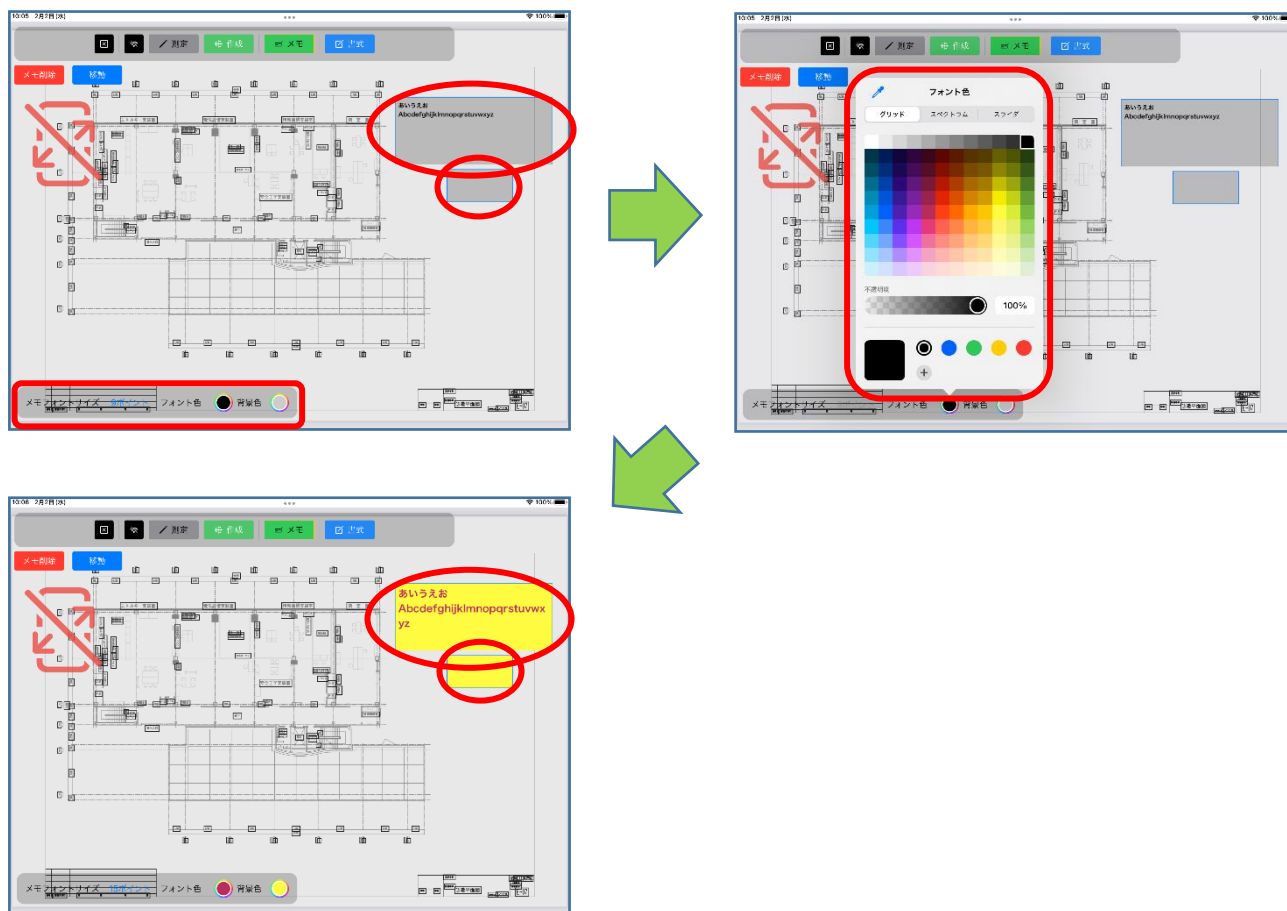
名称	役割
メモフォントサイズ	メモのフォントサイズを変更可能。
フォント色	メモのフォント色を変更可能。
背景色	メモの背景色を変更可能。

メモをタップすると、現在設定されている書式が表示されます。

書式変更を行うと、変更内容が反映されます。

### 注記

◇ 同時に複数のメモを選択状態できます。この場合、最後に選択したメモの書式が表示されます。



## ⑩ メモの移動（ドラッグ移動）

メモ選択モードでメモを選択し、中央部を選択してドラッグすると、メモを移動できます。

### 注記

◇ 同時に複数選択できます。

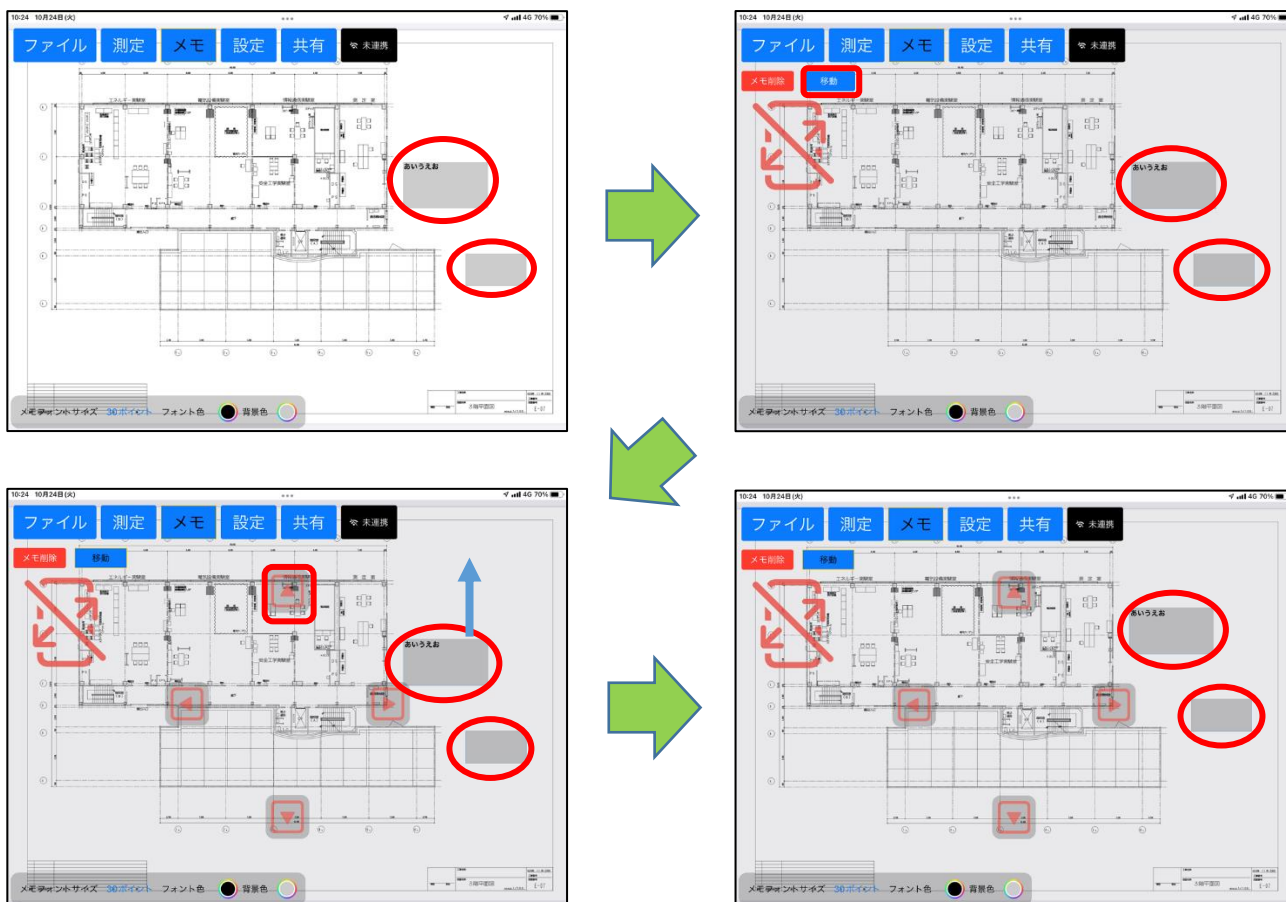


### ⑰ メモの移動（矢印キー移動）

メモ選択モードでメモを選択すると、画面左上に「移動」ボタンが表示されます。「移動」ボタンをタップし、四方の矢印をタップすると、指定した方向に1座標ずつ移動します。

#### 注記

- ◇ 同時に複数選択できます。
- ◇ メモ移動モードでも「⑬メモの削除」「⑯メモの移動（ドラッグ移動）」ができます。



## 14.4 その他の操作

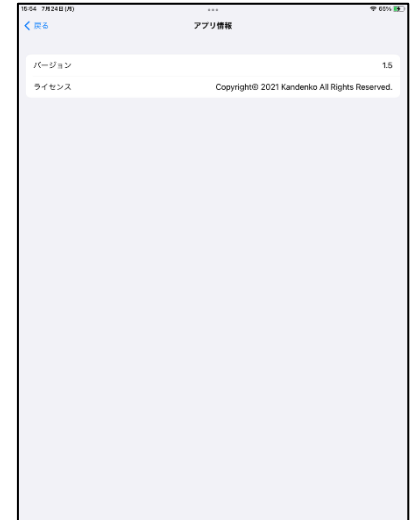
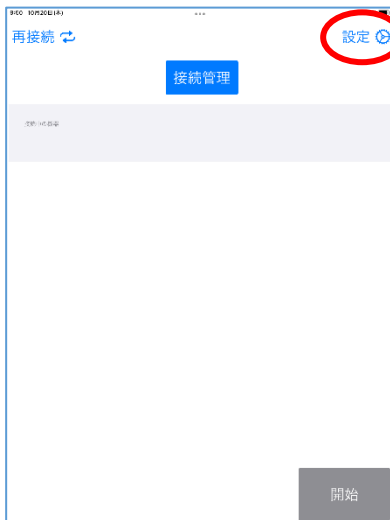
### 14.4.1 アプリ情報

アプリ情報を確認できます。

#### (ア) BLuEAppのアプリ情報

BLuEApp を起動し、「設定」ボタンをタップします。

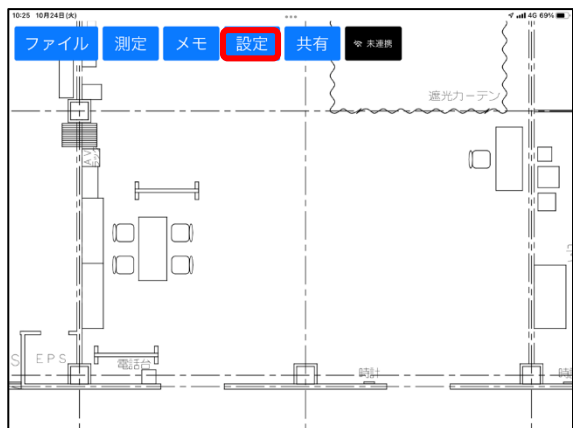
「アプリ情報」ボタンをタップします。



### (イ) PDF Editor のアプリ情報

PDF Editor を起動し、「設定」ボタンをタップします。

「アプリ情報」ボタンをタップします。



## 15 FAQ

### システム仕様

Q. iPhone シリーズで動作しますか？

A. iPhone シリーズでは動作しません。iPad のみ利用できます。

また、OS のバージョンは「iPadOS14.8」以降を使用してください。

Q. BLuEApp が前面に表示されていない状態で測定値を出力できますか？

A. BLuEApp が前面に表示されていない状態では、測定値を出力できません。

### 起動/連携する

Q. Excel への入力の際、BLuEApp 上に測定値は表示されているが、「セル反映」ボタンが表示されず、測定値をセルに出力できない。

A. Office アドインが「連携中」になっているか確認してください。「連携中」でない場合、BLuEApp が前面に表示された状態で「連携」ボタンをタップし、BLuEApp と Excel を連携してください。

それでも連携できない場合、一度 BLuEApp を再起動し、前面に表示してから「連携」ボタンをタップしてください。

Q. PDFEditor への入力の際、BLuEApp 上に測定値は表示されているが、測定ポイントをタップしても測定値が入力できない。

A. PDFEditor が「連携中」になっているか確認してください。「連携中」でない場合、BLuEApp が前面に表示された状態で「未連携」ボタンをタップし、BLuEApp と PDFEditor を連携してください。

それでも連携できない場合、一度 BLuEApp を再起動し、前面に表示してから「連携」ボタンをタップしてください。

### ※Mitutoyo Series 接続時の注意事項

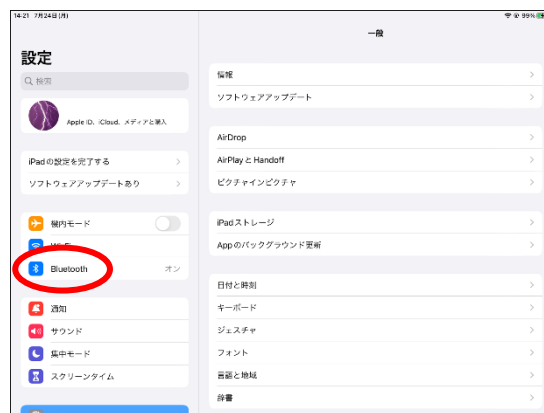
Mitutoyo Series の測定器と BLuEApp の接続が完了すると毎回「Bluetooth ペアリングの要求」ダイアログが表示されます。

その際は、必ず「キャンセル」を選択してください。

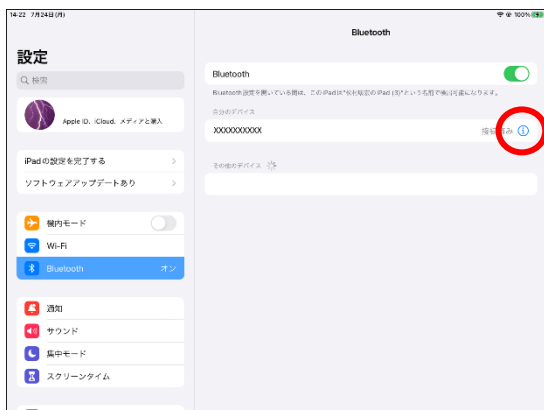


誤って「ペアリング」を選択した場合、測定器との接続は完了しますが測定を行うことができません。以下の手順に従って「ペアリング」を解除し、再度、測定器と BLuEApp の接続を行ってください。

- ① 測定器との切断を行い、BLuEApp を終了する
- ② 「設定」をタップし、「Bluetooth」を選択する

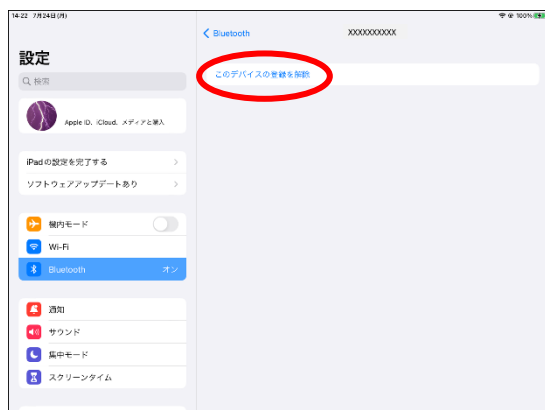


- ③ 「自分のデバイス」に表示されている測定器名（通信アダプタ ID 番号）横の「i」マークをタップする



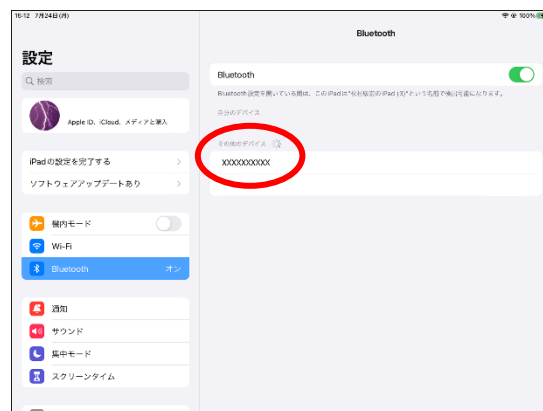
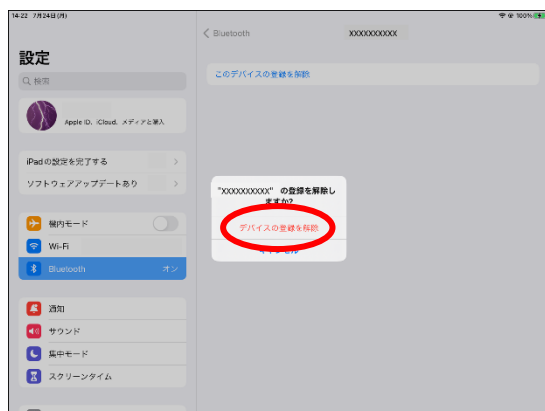


④ 「このデバイスの登録を解除」をタップする



⑤ 「"XXXXXXXXXX"の登録を解除しますか？」ダイアログが表示されるので、「デバイスの登録を解除」をタップする

「その他のデバイス」に測定器名（通信アダプタ ID 番号）が表示されていれば解除完了



⑥ BLuEApp を起動し測定器と接続する

その際、再度「Bluetooth ペアリングの要求」ダイアログが表示されるので「キャンセル」を選択する

### 測定する

Q. Excel への入力の際、「セル反映」ボタンをタップしても測定値が出力できない。

A. Excel 上で図形などのオブジェクトが選択されている状態、またはセルに対して文字の入力待ちになっている状態では、測定値が入力できません。オブジェクトの選択・セルの文字入力を終了し、再度入力するセルを選択し、「セル反映」ボタンを押してください。

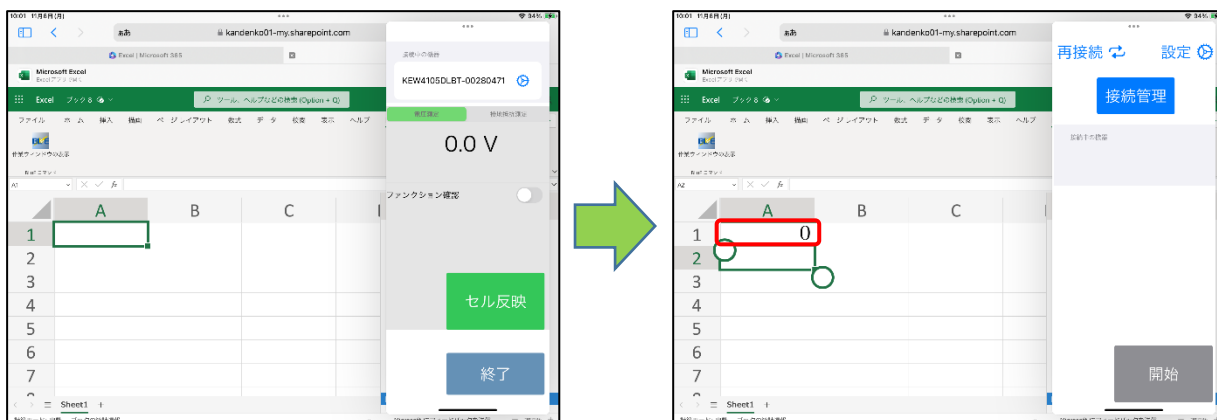
Q. PDF への入力の際、INRUSH 値が出力できない。(CM4371-50・CM4373-50・CM4375-50)

A. INRUSH 測定時は「HOLD」ボタンを使用することができません。設定画面にて、「HOLD」ボタン押下時の出力トグルを無効に設定し、測定ポイントをタップすることで測定値が入力できます。

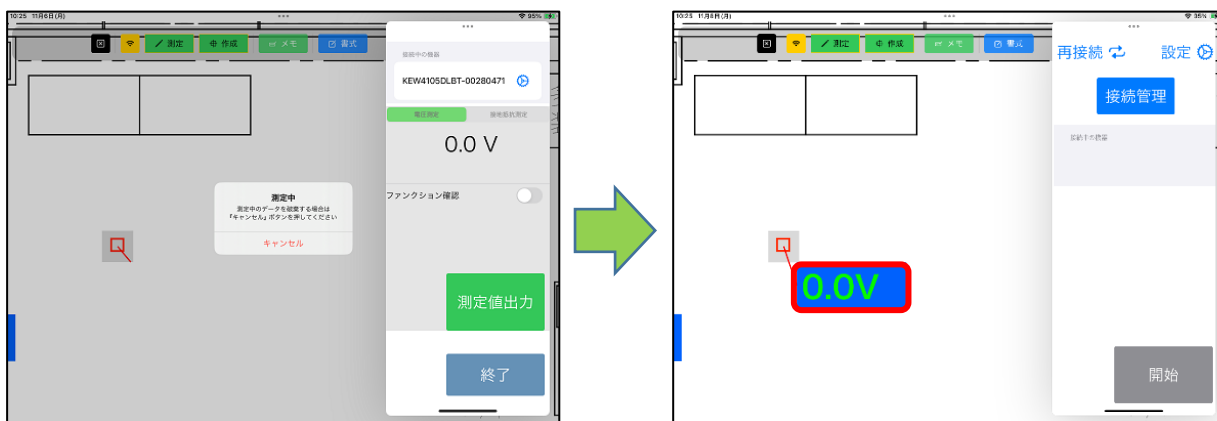


※KEW4105DLBT-H 地電圧測定から接地抵抗測定への切換または電源 OFF した際の注意事項

Excel : 設定画面の「測定スイッチ押下時出力」トグルを有効にした状態で、接地抵抗測定へ切り換えた場合、または、測定器本体の電源を OFF した際に測定値が反映されますのでご注意ください。



PDFEditor : 設定画面の「測定スイッチ押下時出力」トグルを有効にした状態で、画面ピック後の測定中に、接地抵抗測定へ切り換えた場合、または、測定器本体の電源を OFF した際に測定ポイントに測定値が反映されますのでご注意ください。



Q. 測定値一括出力設定において、「セル範囲」を「×」ボタンで削除できない。

A. 下記手順で変更してください。

例 セル範囲を「6」から「7」に変更する場合

1. 「6」の前に「7」を入力する。



2. 「6」の後ろにポインタを移動する。



3. 「×」ボタンで「6」を削除することで「7」に変更することができます。



## その他

Q. 測定器の使い方を知りたい。

A. 測定器の説明書をご確認ください。

Q. Excel の基本的な使い方を知りたい。

A. Microsoft のヘルプ、サポートをご確認ください。

Q. BLuEApp、Excel、PDFEditor のバージョン及びライセンス情報の確認方法を知りたい。

A. BLuEApp は P.86 を参照、PDFEditor は P.87 を参照、Excel は下記の方法にて確認できます。

### 【Excel】

「設定」App から Excel を選択すると、バージョン情報を確認できます。

